

正 訂

程 法 文 東

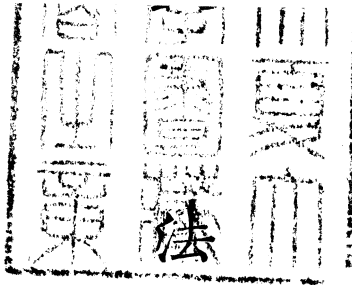
行 發 館 書 印 務 商

東

ECNULIB



10009815935076



程
華東師範大學

0140364

目錄

第一章	總論
第二章	字母
第三章	音韻
第四章	名詞
第五章	代名詞
第六章	動詞
第七章	副詞
第八章	形容詞
第九章	接續詞
第十章	助動詞

一
二
五
八
十
十五
十七
二十二
二十七
三十六

第十一章	感動詞	七十五
第十二章	助詞	七十八
第十三章	接詞	九十四
第十四章	文字連合	九十六
第十五章	文句解釋	九十八
第十六章	文句逗頓	百七
第十七章	合字符號	百九
第十八章	和字新字	百十
第十九章	譯文	百十三

東文法程

第一章 總論

東文者。日本之文字也。東文法程者。日本文之軌範也。統六洲有文字之邦。皆有文法。雖文字各異。而旨義稱謂則一。日本文字之品詞。共分十種。卽名詞。代名詞。動詞。副詞。形容詞。接續詞。助動詞。感動詞。助詞。接詞是也。其論文法之書。如文典等類。爲數甚多。而名目互有同異。解說亦各有詳略。實屬更僕難數。惜近日所譯文法各書。皆就日本文典或直譯或意譯。其解說未盡明白透徹。學者但知其大概。未能知其文之性質。病在無善本耳。茲特擇各文典中至簡至要之言。據漢文解釋其意義。辨別其用法。共分十九章。除第一章總論以外。第二章言字母之體例。第三章言音韻之併合。第四章第五章言名詞及代名詞之種類。第六章言動詞語尾之變化。及動字何段何行之附屬。第七章至第十

三章言副詞形容詞接續詞助動詞感動詞助詞接詞之性質第十四章言文字之連合第十五章言文句之解釋第十六章言文句之逗頓第十七章至第十九章言合字符號和字新字譯文以便講譯學者之查閱著爲一編以公同志非敢謂得其全豹不過闡明普通東文之體例俾閱日本書者自能瞭如指掌無或疑義焉爾

第二章 字母

字母者文字之本源也。日本文字假漢字著爲五十字。編成歌訣共四十七音。名曰伊呂波歌。所謂五十音者。因有イウエ三字重出也。其寫法共分三種。一爲片假。二爲平假。三爲變體。片假者假漢字正楷偏旁而成。平假者假漢字草書之形而成。變體者假漢字與日本音韻相似之草書而成。其音義則一。惟平假便於書寫耳。圖如左。

字母音圖

五十音片假字母音於右者字母之真體
音於左者字母之官音

ア	阿	イ	伊	ウ	烏	エ	野	オ	屋	於
カ	殺	シ	之	ス	須	セ	世	ソ	曾	
ナ	奈	ニ	義	ヌ	奴	ネ	泥	ノ	諾	乃
マ	賣	ミ	美	ム	母	メ	妹	モ	木	毛
ラ	辣	リ	利	ル	魯	レ	勒	ロ	洛	呂

五十音平假字母音於右者字母之真體
音於左者字母之本字

ア	安	イ	以	ウ	宇	エ	衣	オ	於			
カ	加	キ	幾	ク	久	ケ	計	コ	古			
タ	太	チ	知	ツ	津	テ	天	ト	止			
ハ	八	ヒ	比	フ	不	ヘ	反	ホ	保			
ワ	哇	ヰ	井	ヱ	章	ウ	宇	エ	回	ヲ	窩	乎
ヤ	也	イ	伊	ユ	遊	エ	野	ヨ	約			
ハ	哈	ヒ	嚙	フ	赴	ヘ	海	ホ	賀			
タ	他	チ	起	ツ	此	テ	鐵	ト	托			
カ	卡	キ	欵	ク	苛	ケ	開	コ	可			

ら 良
り 利
る 留
れ 禮
ろ 呂

わ 和
の 爲
ち 爲
う 宇
ろ 爲
を 爲
を 爲

五十音變體字母

音於右者字母之真體
音於左者字母之本字

阿 伊 有 江 於
ア イ ウ エ オ

加 起 久 希 古
カ キ ク ケ コ

志 春 世 曾
シ ス セ ソ

多 知 徒 天 登
タ チ ツ テ ト

奈 爾 怒 禰 能
ナ ニ ノ

者 飛 婦 遍 不
ハ ヒ フ ヘ ホ

滿 見 無 免 毛
ミ ミ ム メ モ

屋 意 由 盈 與
ヤ イ ユ エ オ

羅 里 留 連 路
ラ リ ル レ ロ

王 井 宇 惠 越
ヤ イ ウ エ オ

四十七音片假字母

音於右者字母之真體

伊 口 呂 八 八 仁 保 へ 反 卜 止 知 利 又 奴 流 乎 和
イ コ ロ ハ ハ ニ ホ ホ へ へ ト ト チ チ リ リ ヌ ヌ ル ル ヲ ヲ

加 與 多 禮 曾 川 禰 奈 良 牟 宇 斗 章 乃
カ カ ヲ ヲ タ タ レ レ ソ ソ ツ ツ 川 川 禰 禰 ナ ナ ラ ラ ム ム ヌ ヌ 斗 斗 章 章 ノ ノ

於 久 也 万 ケ 不 己 江 天 阿 薩 起 弓
オ オ ク ク ヌ ヌ ヲ オ マ マ マ マ ケ ケ ケ ケ フ フ 不 不 コ コ 己 己 エ エ 江 江 テ テ 天 天 ア ア ア ア サ サ 薩 薩 キ キ 起 起 コ コ

女 三 之 惠 比 毛 世 須
メ メ 女 女 ミ ミ ミ シ シ シ 之 之 エ エ 惠 惠 ヒ ヒ 比 比 毛 毛 毛 毛 七 七 世 世 ス ス 須 須

四十七音平假字母音於右者字母之本字。

い いろ 口はんにほへへとちりりぬるるをちわ
 か カよ ヨ た タれレ そ ソ つ ツ ね ネ な ナ ら ラ む ム う ウ る ル の ノ
 ら ガ く ク や ヤ ま マ け ケ ふ フ こ コ ね エ て テ あ ア さ サ き キ ゆ ユ
 め メ み ミ し シ る エ ひ ヒ も モ せ セ す ス

四十七音變體字母音於右者字母之真體。音於左者字母之本字。

以 以 路 波 二 爾 不 不 四 邊 空 登 知 利 利 奴 奴 留 遠 已 王
 加 加 与 與 多 多 礼 禮 曾 津 招 根 奈 羅 羅 望 無 字 字 弁 井 乃 乃
 於 於 具 屋 満 希 婦 古 江 天 阿 阿 佐 佐 幾 幾 油 油
 免 見 之 惠 飛 毛 世 春
メ ミ シ エ ヒ モ セ ス

第三章 音韻

音韻者文字之發聲也。日本著五十假名。其音分清濁。半濁。鼻音。促音。約音。延

音略音便音拗音十類如左

清音者其聲音發揚分二類曰母韻曰子音母韻有五字即アイウエオ是也音純不藉他音而成而他音藉之以成子音除母韻五字餘四十五字皆子音也此四十五字非純一之音皆自母韻與父音拼合而生故父音有九字即ク
スツヌフムユルウ是也其拼法合爲一表如左

父音		母韻	
ク	子音	ア	阿列
ス	子音	イ	伊列
ツ	子音	ウ	宇列
ヌ	子音	エ	衣列
フ	子音	オ	於列
ム	子音	カ	子音
		キ	子音
		ク	子音
		ケ	子音
		コ	子音
		サ	子音
		シ	子音
		ス	子音
		セ	子音
		ソ	子音
		タ	子音
		チ	子音
		ツ	子音
		テ	子音
		ト	子音
		ナ	子音
		ニ	子音
		ヌ	子音
		ネ	子音
		ノ	子音
		ハ	子音
		ヒ	子音
		フ	子音
		ヘ	子音
		ホ	子音
		マ	子音
		ミ	子音
		ム	子音
		メ	子音
		モ	子音
			阿行
			加行
			左行
			多行
			奈行
			波行
			末行

ウ	ル	ユ
子音	子音	子音
ワ	ラ	ヤ
キ	リ	イ
ウ	ル	ユ
エ	レ	エ
ヲ	ロ	ヨ
和行	良行	也行

拼法

如右表以加行之父音ク與母韻ア合爲一聲則成クア即カ字之音以ク字與イ字拼合則成クイ即キ字之音クウ即ク字之音クエ即ケ字之音クオ即コ字之音如以左行之父音ス與母韻ア合爲一聲則成スア即サ字之音スイ即シ字之音スウ即ス字之音スエ即セ字之音スオ即ソ字之音餘仿此故母韻不雜他音引長其聲而不變子音係由拼合而成引長其聲即變爲母韻試讀カ字引長其音必變爲アサ字引長其音亦變爲ア凡ア列之子音引長皆變爲アイ列之子音皆變爲イウ列之子音必變爲ウエ列之子音必

變爲ユオ列之子音。必變爲オ是也。音韻既明。行列須知。行列者。縱橫之排列也。行者。縱也。如前表。阿行者。即アイウエオ是也。加行者。即カキクケコ是也。左行多行等。仿此。列者。橫也。如前表。阿列者。與ア字同列一排。如カサタナ等是也。伊列者。與イ字同列一排。如キシチニ等是也。ウ列。エ列。オ列。仿此。

濁音者。日本因五十假名尙不足以記一國言語文字之音韻。故另於假名右肩上加之者。曰濁音。共二十字。如左。音於右者字母之官音。

一秀、額、軋、ギ忌議、グ古悟、ゲ改礙、ゴ穀 此行父音ア。

ザ柴、ジ齊、ズ慈、ゼ在、ゾ昨 此行父音ス。

ダ達、ヂ寄、ヅ制、デ敵、ド讀 此行父音ツ。

バ白、ビ避、ブ步、ベ倍、ボ薄 此行父音フ。

半濁音者。另於假名右肩上加○者。曰半濁音。共五字。如左。

パ拍、ピ披、プ鋪、ペ配、ポ撲 此行父音フ。

鼻音者。湏閉口從鼻發出。如ン字。必在他音之下。以助遺韻。

片假。ン 吳。平假。ん 吳。

テンモン 天文。ブンテン 文典。シンブン 新聞。等是也。

促音者。以舌抵齒而不發聲。必發於他音之下。以ツ字代之。如左。促音下音字。按日本所謂之漢音者註之。

- アツ 厭制、
- イツ 一統、
- ウツ 鬱陶、
- カツ 甲冑、
- キツ 吉報、
- クツ 屈伸、
- ケツ 血食、
- コツ 骨董、
- サツ 殺風景、
- シツ 嫉妬、
- セツ 節刀、
- ソツ 卒倒、
- ニツ 日本、
- ネツ 熱帶、
- ホツ 發足、
- ヒツ 匹夫、
- リツ 立食、
- レツ 烈婦、

約音者。以兩音約爲一音。其上音曰父位。下音曰母位。其約得之音曰歸音。約法有四種。如左。

一 父母位異行。歸音於父行母列者。

ア
イ
ウ
エ
オ

母位

タ
チ
ツ
テ
ト

歸音

父位

如トイフ約爲チフ。

二父母位同行歸音於母位者。

タ
チ
ツ
テ
ト

父位

母位

歸音

如モチテ約爲モテ。

三父母位同列歸音於父位者。

ア
イ
ウ
エ

父位

オ
ホ

母位

歸音

如オホチ約爲オチ。

四父母位同音歸音於父母位同音者。

カ
ク
ケ
コ

父位

母位

歸音

延音者。以一音延爲兩音。乃約音之反對也。其延法父位必爲歸音同行之第

一音。母位必爲歸音同列之加佐波三行之音也。例如左。

一歸音母位之延於加行者。假名下所音之字。漢解也。

キク | 聞 | 延爲 キカク |

マヲス | 申 | 延爲 マヲサク |

マツ | 待 | 延爲 マタク |

如キク以ク爲歸音。則屬カ行。其同行之第一字カ即父位也。其歸音之同列在カ行者。即ク字。故ク爲母位也。餘仿此。

二歸音母位之延於佐行者。

ハク | 佩 | 延爲 ハカス |

キク | 聞 | 延爲 キカス |

タル垂 延爲 タラス

三歸音母位之延於波行者

イマセ在 延爲 イマサへ

カクス隱 延爲 カクサフ

モミヂ紅葉 延爲 モミダヒ

略音者與約音不同約音者由連聲之便將兩音合爲一音略音者由連聲之便將一音全行消滅也略法有四例如左

一爲兩同音相疊之略音者

タビト旅人 略爲 タビト

カハハラ河原 略爲 カハラ

二爲ア行母音之略音者

三爲伊列子音之略音者。

オモイシ壓石 略爲 オモシ

カハウチ河内 略爲 カハチ

アシブミ鑿 足踏 略爲 アブミ

ハチス蓮 蜂巢 略爲 ハス

ハニシ土師 埴師 略爲 ハシ

ユミヅル弓弦 略爲 ユヅル

トリカリ鳥狩 略爲 トガリ

四爲良行之略音者。

カヘルサ歸 略爲 カヘサ

タハレコト戲言 略爲 タハコト

音便者。由於發音之便利。而轉爲他音。則其音之變化。雖將原音變去。然由某音變某音。自有一定之法。要不外イウンツ四字也。分類列之。如左。

一爲キシ之轉爲イ音者。

トキテ說

轉爲

トイテ

ココロヨシ快

轉爲

ココロヨイ

二爲カクハヒフヘホマミムリキヲ之轉爲ウ音者。

カガフリ冠

轉爲

カウブリ

タカク高

轉爲

タカウ

フキガハ轉吹革

轉爲

フキガウ

トヒテ問

轉爲

トウテ

ホフシ法師

轉爲

ホウシ

ツカヘマツル 仕奉。 轉爲

ナホラヒ 直會。 轉爲 ナウラヒ

タマハリ 賜。 轉爲 タウバリ

テミヅ 手水。 轉爲 テウヅ

タムケ 峠。 轉爲 タウゲ

トリデ 取出。 轉爲 トウデ

マヲス 申。 轉爲 マウス

三爲ニヌハヒホミムモリル之轉爲ン音者。

イカニ 如何。 轉爲 イカン

キヌタ 砧。 轉爲 キンタ

ワラハベ 童。 轉爲 ワランベ

アキヒト商人

轉爲

アキンド

ホトホト殆

轉爲

ホトンド

スミテ住

轉爲

スンデ

ヒムカシ東

轉爲

ヒンガシ

ネモゴロニ懸

轉爲

ネンゴロニ

サカリニ盛

轉爲

サカンニ

アルメリ有ルメリ

轉爲

アンメリ

四爲チヒフリ之轉爲促音之ツ音者

カチテ勝

轉爲

カツテ

タタカヒテ戦

轉爲

タタカツテ

タフトシ貴

轉爲

タットシ

ホリス欲。

轉爲

ホツス。

音便中又有將イウンツ四字添入句中者。此不過取其發音之便利耳。略舉如左。

シカ詩歌。

添爲

シイカ。

マク設。

添爲

マウク。

ナラズバ成ラズバ。

添爲

ナラズンバ。

マタク全。

添爲

マツタク。

拗音者以二字發爲一音。凡二十餘字。於キシチニヒミリ七字下用ヤユヨ三字各分而拼之。又於ク字下用ワ字拼之也。如左。拗音下音字。依日本所讀漢音者註之。

キヤク客。

キユウ宮。

キヨ居。

ギヤク糖。

ギユウ牛。

ギヨ瀉。

シヤ車。

シユ主。

シヨ書。

シヤ社。

ジュ樹。

ジュ序。

チヤウ長。

チユウ忠。

チヨ著。

チヤ茶。

ヂユウ重。

キヨウ共。

ギヤウ仰。

ニユウ柔。

ニヨ女。

ヒヤク百。

ビヤク白。

ヒヨウ雹。

ヒヨウ冰。

ミヤク脈。

リヤク略。

リユウ龍。

リヨ旅。

クワン管。

グワイ外。

第四章 名詞

名詞者凡以名一切事物也凡人國山川等其稱謂爲環球所同者曰普通名

詞人名地名國名事物名。限於一物一處者。曰特別名詞。草木鳥獸等。具體質者。曰有形名詞。聲色香臭等。聽而知。感而知。味而知者。曰無形名詞。一二三四千萬等。曰數詞。名詞分五格。主格。領格。賓格。副賓格。獨立格是也。

主格者。卽一句中動作形容之主也。其下多助以ハ・モ・ゾ・コ・ソ・ノ・ガ・等助詞。助詞下必有動詞形容詞。主格下之助詞。例如蝶ハ飛ブ。蝶是飛鳥モ飛ブ。鳥亦飛。雪ゾ清キ。雪獨清。人コソ萬物ノ靈ナレ。人爲萬物之靈。子供ガ遊ブ。小孩的遊玩。等

是也。

領格者。領袖他物之意也。其下多助以ノ・ガ・等助詞。助詞下必接以名詞。領

格下之助詞者。如庭ノ花。庭之花。梅ガ枝。梅的枝。君ガ心。君的心。等是也。

賓格者。受主格之動作也。其下每助以ヲ字。間有助以バ・ゾ・コソ等字。賓格

下之助詞者。如中等ノ牛ヲ用フ。下等ノ人ヲ使フ。用中等之牛。使下等之人。是也。

副賓格者。乃表示賓格動作之位置方向及始終等也。其下多助以ニ・ヘ・ヨ

リ・カラ・マデ・モテ・シテ・等助詞。故副賓格下之助詞者。如都ニ住ム。住於都。

田舎へ行ク。行於田舎。外國ヨリ來ル。自外國來。天竺マデ行ク。行至天竺。筆ニテ書

ク。以筆寫。手モテ教フ。以手教。人シテ云ヒヤル。介人言。等是也。

獨立格者。特意而呼。無關他物。表異尋常之名詞也。多助以セヨ。之助詞。故

獨立格之助詞者。如起キヨワガ子。起來罷我的兒子。ワガ子ヨ學ベ。我的兒子學呀。等

是也。子字。即獨立格。

第五章 代名詞

代名詞者。凡事物之不必名。以爾我彼此等字代之也。分二種。曰人代名詞。曰

指示代名詞。

人代名詞者。代呼人之名稱也。分四類。一曰自稱。即吾我之類。二曰對稱。即爾

汝之類。三曰他稱。即彼他之類。四曰不定稱。即誰某之類。列表如左。

自稱	對稱	他稱	不定稱
ア (我)	ナ (汝)	アノ (彼)	タ (誰)
ワ (我)	ナレ (汝)	カノ (彼)	タレ (誰)
アレ (我)	オマヘ (御前)	アレ (彼)	ドナタ (何處之方)
ワレ (我)	アナタ (您)	カ (彼)	ソレガシ (某)
ワラハ (妾)	イマシ (汝)	カノ (彼)	
オノレ (己)	ナムヂ (汝)	カレ (彼)	
テマヘ (手前)	オン身 (御身)	アイツ (彼奴)	
コナタ (此方)	キミ (君)	カヤツ (彼奴)	
ワタクシ (私)			

セツガレ(僕)

ワガ身(我身)

ボク (僕)

備考

右表中自稱欄之ア、ワ、アレ、ヤツガレ。對稱欄之ナ、ナレ、イマシ。他稱欄之アカ。不定稱之タ。皆屬古語雅語。非日用語。自稱欄之ワラハ婦人自稱也。此他尙多今不備舉

人代名詞亦有時可通用。如オノレ、テマヘ、ワレ等。雖爲自稱。然亦有用於對稱者。某者雖爲不定稱。而用於自稱者多。當從文之前後語氣關係處而區別之。

指示代名詞者。代呼事物之名稱也。多用於名詞前。分四種。一代事物。二代地

位。三代方向。四代指示。每種亦分四類。一代近者曰近稱。二代稍遠者曰中稱。三代遠者曰遠稱。四代未定者曰不定稱。列表如左。

方向	地位	事物		近稱	中稱	遠稱	不定稱
		コ	コレ				
コチ コナタ (此方)	ココ (此處)	コ (此)	コレ (此)	此			
ソチ ソナタ (其方)	ソコ (其處)	ソ (其)	ソレ (其)	其			
アチ アナタ (彼方)	アシコ アソコ カシコ (彼處)	ア アレ (彼)	カ カレ (彼)	彼			
ドチ イツチ イツカタ (何方)	ドコ イツク イツコ (何處)	ナニ ドレ イヅレ (何)	イヅレ (何)	何			

指示	コノ (此)	ソノ (其)	アノ (彼)	ドノ (何)
			カノ (彼)	イヅレノ (何)

右表如コレ等用以代一切事物之名故曰事物代名詞。コノ等用以代一切地位之名故曰地位代名詞。コチ等用以代一切方向之名故曰方向代名詞。コノ等用以代指示一切事物之名故曰指示代名詞。

人代名詞之不定稱今略舉於左以便應用。

誰カ之ヲ知ル誰歟知之。 誰ヲカ友トセン將誰友乎。

汝ハ誰ナルカ汝者誰耶。

指示代名詞之不定稱者。

學校ニ往クニハドノ道ヲ通ルカ通往學校由何道。

此ノ文ハ何ノ本ヨリ寫セルカ此文集由何書所寫。

第六章 動詞

動詞者。用於體言之下。就名詞代名詞。以表示事物之動作也。下必附六格。六格
詳下。之假名。其性質共六種。最易區別者二種。曰自動。曰他動。或可不用助動詞。
餘四種。曰能動。曰受動。曰使動。曰被使動。稍難區別。皆須用助動詞以表之。動凡

詞傍皆附○作
記以便查閱

自動詞者。自能動作。不假力於他物。有施而無受也。如風吹。花開。鳥鳴。之吹字。
開字。鳴字。是也。其主格之名詞下。每助以ガ字。省去亦可如左。

風ガ吹ク。風吹。
花ガ咲ク。花開。
鳥ガ鳴ク。鳥鳴。

他動詞者。自動及於他物。有施而有受也。如磨墨。閉戶。食飯。之磨字。閉字。食字。
是也。其賓格之名詞下。每助以ヲ字。如左。

墨ヲ磨ル。磨墨。
戸ヲ閉ヅ。閉戶。
飯ヲ食フ。食飯。

能動詞者。表自己能動之詞也。如我能讀書。我可寫字。之能字可字是也。其主格之名詞下。每助以ハ字。其動字每有助動詞接之。如左。凡助動詞傍皆附・作記

我レハ書ヲ讀マル。我能讀書。

我レハ字ヲ書キ得ラル。我可寫字。ル與ラル。

助動詞能動之終止格。

受動詞者。他人所爲之事。而我受之之詞也。如被諫。被打。之諫字打字是也。其名詞下。每助以ニ字。而動字下。每有助動詞接之。如左。

朋友ニ諫メラル。爲朋友所諫。

人ニ打タル。爲人所打。ル字。爲助動詞受動之終止格。

使動詞者。使他人作事之詞也。其名詞下。每助以ヲ字。如左。

生徒ヲ勵マス。使生徒勉勵。

一日ニ一冊ノ書ヲ讀マシム。使人一日讀一冊之書。ス與

シム。皆助動詞使動之終止格。

被使動詞者。受他人使令作事之詞也。其主格之名詞下。每助以ニ字。如左。

稻田ノ雀ヲ父ニ逐ハセラル。父使我逐稻田之雀。

稻ヲ負ヒタル牛ヲ母ニ牽カセラル。母使我牽負稻之牛。

一日ニ一册ノ書ヲ讀マシメラル。人使我一日讀一册之書。セラル與シメラル。皆助動詞被

使動之終止格。

右能動受動使動被使動四種與助動詞章參看。

動詞分爲語根語尾。假如讀マ讀ミ讀ム讀メ。其讀字爲語根。其マミムメ等字爲語尾。其變化皆有一定之規則。用法分六格。一將然格。二連用格。三終止格。四連體格。五已然格。六命令格。舉讀字解之。如左。

將然格者。以形容未然將然動作語尾之變化也。

此ヨリ書ヲ讀ママム。從此將讀書。讀マ。爲將然格。故可接未來助動詞ム字。

我ハ書ヲ讀マズ。我是不讀書。讀マ。爲將然格。故可接否定助動詞ズ字。

若シ書ヲ讀マバ賢キ人トナラン。若讀書則應爲賢人。讀マ爲將然格。ナラン爲推量助動詞。

以上動詞及助動詞檢各表即知下類推。

連用格者即連續用言語尾之變化也。

書ヲ讀ミ畢ル。讀書甫畢。讀ミ爲連用格。畢ル用言也。

讀ミ誤マル。誤讀。誤。動詞。用言也。

讀ミガタシ。難讀。難。形容詞。用言也。ガタシ難也。

終止格者即語氣已完語尾之變化也不接他詞。

書ヲ讀ム。正讀書。讀ム爲終止格。此言開卷朗誦也。

病ハ癒ユ。病愈。早く起ク。早起。人ハ行ク。人行。

連體格者即連續體言語尾之變化也。體言者名代等詞也。

書ヲ讀ム人。讀書人。行ク人。行人。

已然格者。卽形容動作已終之語尾變化也。下接助詞バ。如左。

常ニ書ヲ讀メ。バ能ク道ヲ知ル。常讀書則能知道。

花咲ケ。バ鳥モ鳴キ初ム。花已開則鳥亦鳴。

命令格者。其口氣有居高臨下之意。以形容命令他人動作之語尾變化也。其下每附ヨ字。但在四段活用奈行變格。良行變格不用ヨ字。

書ヲ讀メ。須讀書。 早ク行ケ。快行罷。

連用連體數事並舉者。則上數事動詞語尾變化。必用連用格。下一事動詞語尾變化。必用連體格。如左。

路ヲ行キ。書ヲ讀ミ。字ヲカク。人アリ。有行路讀書寫字之人。カク。寫也。

動詞作名詞用者。其動詞之語尾。必用連用格。如左。

教ヘヲ受ク。受教。教字本爲動詞。若受教之教。則變爲名詞。

兩動詞並用者。大概俱讀漢音。單字亦多讀漢音。無論其字爲動詞爲名詞。而欲作動詞用者。其下必助以サ行變格之語尾。其語尾稍有爲字意。如左。

論ゼ。論ジ。論ズ。論ズル。論ズレ。論ゼヨ。

學問セ。學問シ。學問ス。學問スル。學問スレ。學問セヨ。

論與學問兩語。本爲動詞。欲讀漢音。則成漢語矣。漢語名詞也。而欲作動詞用。則不能無動詞語尾變化。故用サ行變格也。

動詞語尾變化分六格者。有六類。一四段活用。二上二段活用。三下二段活用。四上一段活用。五下一段活用。六四行變格。列表及動字如下。

四段者。阿伊宇衣四字之同段也。活用者。四段中同行之字變化也。其語尾僅有加左多波末良六行。其動字共有一千六百餘字。表中每行舉一字以爲例。表後動字。就大文典中錄出常用者之終止格例之。以便查閱。如左。

加行動字。

驚ク	飽ク	咲ク	良	末	波	多	左	加
集ク	凌グ	碎ク	行	行	行	行	行	行
乾ク	退ク	漕グ	取	讀 ^ヨ	食 ^ク	打 ^ツ	話 ^{ハナ}	行 ^ユ
築ク	動ク	聞ク	ラ	マ	ハ	タ	サ	カ
傾ク	防グ	書ク	リ	ミ	ヒ	チ	シ	キ
泳グ	注グ	叛ク	ル	ム	フ	ツ	ス	ク
抱ク	布ク	懷ク	ル	ム	フ	ツ	ス	ク
欺ク	除ク	招ク	レ	メ	ヘ	テ	セ	ケ
蒔ク	裂ク	塞グ	レ	メ	ヘ	テ	セ	ケ

四段活用

語根

將然格

連用格

終止格

連體格

已然格

命令格

磨ク 解ク 燒ク 嘶ク 喘グ 開ク 急グ 戴ク 往ク

囁ク 響ク 嘆ク 泣ク 吹ク 捲ク 拔ク 閃ク 挫ク

續ク 突ク 附ク 焚ク 跪ク 省ク 掃ク 引ク 吐ク

繙ク 貫ク 彈ク 平グ 繼グ 訐ク 口説ク 好ク 殺ク

叩頭スカフク 置ク 視ク 霹靂ヒシメク 拉ヒシメグ 犇ヒシメク 拭アク 瞬マシログ 貢ミツグ

動搖ユルグ 戰ク 向ムク 齋イク 薄ラグ

左行動字.

増ス 施ス 示ス 殺ス 越ス 貸ス 曝ス 押ス 劫ス

消ス 鎖ス 寫ス 任ス 坐ス 促ス 迴ス 催ス 申ス

放ス 召ス 濡ス 蒸ス 下ス 威嚇ス 隱ス 返ス 暮ス

諭ス 記ス 賺スマス 糺ス 試タメス 盡ス 通ス 果ス 臥ス

干ス 亡ス 覆ス

又

飲マス 鳴ラス 馴ラス 暮ラス 惱マス 漂ハス 涌カス

外ス 亂ス 泄ラス 紛ラス 迷ハス 富マス 生カス

醒マス 鳴カス 動カス 佩カス 照ラス 乾カス 取ラス

搖カス 散ラス 枯ラス 踊ラス 懲ラス 急ガス 驚カス

通ハス 澁ラス 轟カス 靡カス 匂ハス 走ラス 綻バス

酔ハス 響カス 轉バス

多行動字。

持ッ 穿ッ 立ッ 待ッ 過ッ 滿ッ 絶ッ 勝ッ 育ッ

保ッ 放ッ 日立ッ 隔ッ 分ッ 聳ッ 壞ッ 獨言ッ

波行動字。

償	咽 <small>ムセ</small>	拾	慕	乞	誓	厭	行	並
フ	グ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
飛	呼	振	弔	潤	歌	誘	醉	追
グ	グ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
這	悅	拭	匂	叫	忍	通 <small>カヨ</small>	掩	學
フ	グ	フ	フ	グ	グ	フ	フ	ブ
拂	漂	勞	習	移	叶	應接	爭	笑
フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
禁	逢	運	縫	敬	飼	浮	思	候
壓	フ	グ	フ	フ	フ	ブ	フ	フ
フ	添	諛	音信	負	狂	兢	祝	遊
	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	ブ
	侍	纏	逆	伺	奪	窺	言	扱
	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ
	傷	賄	術	裝	疑	失	及	洗
	フ	フ	フ	フ	フ	フ	ブ	フ
	違	貫	繕	從	買	嫌	食	襲
	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ	フ

又

住マフ 計ラフ 紛ラフ

末行動字。

歩ム 編ム 讀ム 營ム 挑ム 勇ム 痛ム 疎ム 倦ム

産ム 霞ム 嚙ム 屈ム 圍ム 羨ム 組ム 危ム 刻ム

清ム 好ム 沈ム 食ム 進ム 忌ム 悲ム 黃ム 嗜ム

摘ム 挾ム 撓ム 疊ム 積ム 攫ム 富ム 飲ム 惱ム

望ム 慰ム 勵ム 睥ム 盜ム 止ム 休ム 含ム 悔ム

苦ム 染ム 萎ム 涼ム 巧ム 謹ム 休タヌム 病ム 曲ユガム

緩ム 笑ム 拜ム 惜ム 縮ム 怨ム 窪ム 怪シム 荒ム

良行動字。

上ル 語ル 嘲ル 詰ル 當ル 泊ル 通ル 宿ル 集ル

屠 ル	噉 ル	練 ル	配 ル	侮 ル	眠 ル	限 ル	知 ル	謗 ル	照 ル	灸 ル
勝 ル	反 ル	罵 ル	曇 ル	握 ル	代 ル	飾 ル	去 ル	賣 ル	募 ル	成 ル
廻 ル	足 ル	遣 ル	凝 ル	踊 ル	歸 ル	翔 ル	絞 ル	蹲 ル	散 ル	造 ル
登 ル	便 ル	理 ル	樵 ル	終 ル	切 ル	冰 ル	囀 ル	織 ル	怒 ル	取 ル
戾 ル	約 ル	葬 ル	守 ル	讓 ル	來 ル	障 ル	怠 ル	贈 ル	至 ル	餘 ル
搖 ル	塗 ル	溯 ル	乘 ル	走 ル	薰 ル	烟 ル	劣 ル	崇 ル	祈 ル	誤 ル
過 ル	蔓 ル	探 ル	張 ル	憚 ル	阿 ル	腐 ル	借 ル	刷 ル	契 ル	入 ル
弱 ル	眈 ル	定 ル	殘 ル	貪 ル	悟 ル	削 ル	刈 ル	叱 ル	剃 ル	綴 ル
蟠 ル	細 ル	滴 ル	舐 ル	盛 ル	堀 ル	重 ル	懸 ル	縊 ル	亡 ル	滯 ル

眠ル

又

加ハル 助カル 悪カル 疊マル 治マル

上二段者伊字二字之同段也。活用者二段中同行之字變化也。但連體已然命令三格必附以ルレヨ三字其語尾僅有加多波末也。良六行其動字約有八十餘字。表中每行舉一字以爲例。表後動字就大文典中錄出常用者之終止格例之。以便查閱也。如左。

波	多	加	上二段活用
行	行	行	語根
戀 ^ナ	落 ^オ	起 ^オ	將然格
ヒ	チ	キ	連用格
フ	ツ	ク	終止格
フル	ツル	クル	連體格
フレ	ツレ	クレ	已然格
ヒヨ	チヨ	キヨ	命令格

良	也	末
行	行	行
懲 <small>コ</small>	老 <small>オ</small>	恨 <small>ツ</small>
リ	イ	ミ
リ	イ	ミ
ル	ユ	ム
ル	ユ	ム
ル	ル	ル
ル	ユ	ム
ル	レ	レ
リ	イ	ミ
ヨ	ヨ	ヨ

加行動字.

生ク 過グ 盡ク 起ク

多行動字.

落ッ 朽ッ 懼ヅ 閉ヅ 恥ヅ 捻ヅ 攀ヅ 紅葉ヅ

波行動字.

生フ 戀フ 媚ブ 忍ブ 強フ 延ブ 亡ブ 綻ブ 佩ブ

佗ブ 赤ラブ 大人ブ 睦ブ

末行動字.

怨ム 後ム^{ウシロ} 試ム 鑒ム

也行動字。

老ユ 悔ユ 報ユ

良行動字。

下ル 懲ル

下二段者。字衣二字之同段也。惟衣段列上。字段列下。活用與下三格附屬同。上二段法。其語尾阿加左多奈波末也。良和十行全備。其動字約有七百字。表中每行舉一字以爲例。表後動字。就大文典中錄出常用者之終止格例之。如左。

阿	行	下二段活用	語根	將然格	連用格	終止格	連體格	已然格	命令格
			得 ^エ						
				エ					
					エ				
						ウ			
							ウル		
								ウレ	
									エヨ

阿行動字.
得^ッ心^コ得^ク

和 良 也 末 波 奈 多 左 加
行 行 行 行 行 行 行 行 行

植^ツ 晴^ハ 冷^シ 納^メ 添^ソ 寢^イ 捨^ス 瘦^ヤ 受^ウ

エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ

エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ

ウ ル ユ ム フ ヌ ツ ス ク

ウ ル ユ ム フ ヌ ツ ス ク
ル ル ル ル ル ル ル ル

ウ ル ユ ム フ ヌ ツ ス ク
レ レ レ レ レ レ レ レ

エ レ エ メ ヘ ネ テ セ ケ
ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ ヨ

加行動字.

授ク 受ク 舉グ 預ク 懸ク 碎ク 避ク 掲グ 妨グ

精グ 退ク 煤ク 助ク 平グ 投グ 手向ク 告グ 續ク

逃^ニグ 禿^ハグ 設ク 負ク 名ク 曲グ 解ク 遂グ 開ク

廣グ 更^フク 分ク 燒ク 除ク 溶ク 剝グ 和ラグ 挫ク

缺ク 裂ク 塞グ 懷ク 提グ

左行動字.

寄ス 瘦ス 咽ス 馳ス 失ス 仰ス 載ス 偃ス 着ス

任ス

又

聞カス 習ハス 匂ハス 走ラス 合ハス

靡カス



書カス 參ラス 撓マス 居ラス 讀マス 坐ラス
多行動字。

育ッ 當ッ 周章ッ 出ヅ 企ッ 捨ッ 撫ヅ 秀ヅ 隔ッ

詣ヅ

奈行動字。

兼ヌ 重ヌ 寢ヌ 束タスヌ 連ヌ 尋ヌ 委ヌ 芻ヌ 損ヌ

波行動字。

與フ 詔フ 堪フ 總ブ 訴フ 押フ 譬フ 考フ 答フ

加フ 衰フ 支フ 換フ 調フ 迎フ 算フ 構フ 仕フ

較ブ 拵フ 幸フ 從フ 添フ 攜フ 擬フ 揃フ 貯フ

傳フ 唱フ 捕フ 辨フ 鍛フ 延ブ 並ブ 存生 控フ

歴フ 横フ

末行動字

明ム 暖ム 崇ム 改ム 誠ム 諫ム 治ム 譽ム 求ム

掠ム 固ム 清ム 醒ム 冷ム 極ム 定ム 締ム 占ム

輕ム 責ム 嘗ム 咎ム 染ム 溜ム 進ム 認ム 鎮ム

沈ム 宥ム 縮ム 勉ム 撓ム 留ム 鏤ム 慰ム 早ム

僻ム 深ム 眺ム 慥ム 潛ム 惱ム 籠ム 埋ム 矯ム

也行動字

覺ム 愈ム 消ム 聞ム 吼ム 榮ム 越ム 肥ム 聳ム

生ム 殖ム 見ム 燃ム 萌ム 凍ム 冷ム 絶ム 斷ム

潰ム 魘ム 肖ム

良行動字。

呆ル 晴ル 荒ル 溢ル 容ル 濡ル 蕩ル 生ル 免ル

逃ル 腫ル 後ル 溺ル 恐ル 枯ル 顯ル 焦ル 流ル

切ル 吳ル 垂ル 穢ル 囊ル 暮ル 知ル 崩ル 時雨ル

亂ル 爛ル 馴ル 漏ル 戲ル 疲ル 潰ル 離ル 忘ル

破ル 觸ル 音信ル 惚ル 膨ル 折ル

又

埋モル 書カル 讀マル 結バル 學バル 語ラル 蹴ラル

死ナル 云々セラル

和行動字。

飢ウ 居ウ 植ウ

上一段者伊段也。其語尾本無變化。惟添入ルレヨ三字。以成六格。僅有阿加

奈波末和六行。其動字僅有二十四字。如左。格例之

動字用終止

阿	加	奈	波	末	和
行	行	行	行	行	行
射 ^イ	著	煮 ^ニ	干 ^ヒ	見 ^ミ	居 ^キ
イ	キ	ニ	ヒ	ミ	キ
イ	キ	ニ	ヒ	ミ	キ
イル	キル	ニル	ヒル	ミル	キル
イル	キル	ニル	ヒル	ミル	キル
イレ	キレ	ニレ	ヒレ	ミレ	キレ
イヨ	キヨ	ニヨ	ヒヨ	ミヨ	キヨ
終止格	連體格	連用格	將然格	語根	上二段活用

阿行動字。

射ル 鑄ル 沃ル

加行動字。僅有着ル一字。

奈行動字。僅有[○]。賁[○]ル。與似^ニル。二字。

波行動字。

干^ル 噫^ル 簸^ル

未行動字。僅有見[○]ル。一字。

又

惟^ミル 鑑^ミル 顧^ミル 試^ミル 後見^ル

和行動字。僅有居[○]ル。與^非率[○]ル。二字。

又

率^キル 用^キル 突^非居^ル 并^非居^ル

下一段者。衣段也。此段亦無變化。惟添入^ルレ^ヨ三字。成六格。語尾僅有加奈波三行。其動字僅有蹴[○]。躅[○]。綜[○]。三字。惟多用於俗語耳。如左。

四行者。加左奈良四行也。變格者。不能入上五表正格也。其動字僅有十八字。如左。

加 行	左 行	奈 行	良 行	四行變格	下一段活用	加 行	奈 行	波 行	語根	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
來 ^コ	爲 ^ス	死 ^シ	有 ^ア	語根	將然格	ケ	ネ	ヘ	將然格	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
コ	セ	ナ	ラ	將然格	連用格	ケ	ネ	ヘ	連用格	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
キ	シ	ニ	リ	連用格	終止格	ケル	ネル	ヘル	終止格	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
ク	ス	ヌ	リ	終止格	連體格	ケル	ネル	ヘル	連體格	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
クル	スル	ヌル	ル	連體格	已然格	ケレ	ネレ	ヘレ	已然格	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
クレ	スレ	ヌレ	レ	已然格	命令格	ケヨ	ネヨ	ヘヨ	命令格	蹴 ^テ	殍 ^テ	綜 ^ヘ
コヨ	セヨ	ネヨ	レヨ	命令格								

加行動字僅有一來字。

左行動字僅有爲坐二字。

左行轉用動字。語尾之ズ字者。非作不字解。凡ス上有ン字及ウ字。必爲濁音

甘ンズル 輕ンズル 肯ンズル 怨ズル 踈ズル 與スル

心スル 領ズル 以上八字。皆與爲字拚合。變成左行

奈行動字僅有去與死ヌ二字。

良行動字。

有リ 居リ イシカ 在リ 侍リ

以上六表。須留意記誦。

第七章 副詞

副詞者。副於動詞形容詞及他副詞上。以限制其語意之詞也。設云稍能讀書。

稍字即副詞。以限定其能讀書之狀態也。又云暫時休息。暫字即副詞。以限定其休息之晷刻也。

副詞之副於動詞上者。如左。

必行[○]クベシ[○]。必當行。靜[○]ニ走[○]ル。靜走。行與走。動詞。必與靜[○]ニ。副詞。此言副詞限制動詞之意味也。

副詞之副於形容詞上者。如左。

最[○]モ強[○]キ動物。最強動物。イト短[○]キ竹。最短竹。強與短。形容詞。最[○]モ與イト。副詞。此言副詞

限制形容詞之意味也。

形容詞之變爲副詞者。形容詞用於動詞之前。概變爲副詞。如左。

犬ヲ輕[○]ク。擊[○]ツ。輕打犬。馬ガ早[○]ク。走[○]ル。馬速走。彼ハ能[○]ク。勉強[○]ス。彼能勤勉。

擊與走與勉強。動詞。而有早[○]ク輕[○]ク能[○]ク等之形容詞用於其前。則形容詞爲副詞矣。

形容詞與動詞中間隔數字不緊接者。其形容詞亦爲副詞。如左。

能ク。書ヲ讀ム。能讀書。多ク。古人ノ書ヲ讀ム。多讀古人之書。廣ク。眼ヲ放ツ

テ。字内ノ形勢ヲ考フ。廣放眼界而考字内之形勢。

副詞之副於他副詞上者。如左。

イト。靜ニ言ヘリ。最靜言。最モ。早ク走ル。最速行。靜ニ與早ク。皆副詞。而更有イト與最モ之副

詞副於其上。以限定其意味也。

自他詞變爲副詞者。約有七種。如左。

一名詞變爲副詞者

終。日。讀書ス。終日讀書。昔。男。ア。リ。ケ。リ。昔有男。都。ハ。今。花。盛。リ。ナ。リ。都今花盛開。

二在名詞下添助詞ニ而爲副詞者。

誠。ニ。ヨ。シ。誠善。實。ニ。美。シ。實美。常。ニ。手。習。フ。常習字。

三在動詞之連用格添助詞テ・ニ・而成副詞者。

絶。エテ無シ。絶無。

極。メテ悪シ。極悪。

風頻。リニ吹ク。風頻吹。

妄。リニ笑

フベカラズ。不可妄笑。

四用形容詞之連用格而爲副詞者。

山高ク。聳ユ。山高聳。

ウレシク。思フ。悦。

樂シク。遊ブ。樂遊。

イタク。悲シ

ム。甚悲。

水清ク。流ル。水清流。

ハヤク。起ク。早速起。

五重複名詞而爲副詞者。

ツネト。教フ。常常教。

夜々。書ヲ讀ム。夜夜讀書。

時々。來ル。時時來。

六重複動詞而爲副詞者。

行ク。語ル。行且語。

マス。勉強ス。益勉強。

泣ク。語ル。泣且語。

七重複形容詞之語根而爲副詞者。

ヤス。易易。

タカ。極貴。

ハル。遙遙。

第八章 形容詞

形容詞者。即修飾一切事物之狀態性質者也。下必附假名。如善・惡・高・深・黑・白・等皆是。大略可分七類。如左。

一 時候。永キ。久シキ。新シキ。早キ等是也。

二 場處。遠キ。高キ等是也。

三 分量。多キ。繁キ等是也。

四 形體。圓キ。小キ。深キ。厚キ等是也。

五 態樣。粗キ。堅キ。白キ。熱キ等是也。

六 性質。善キ。貴キ。正シキ。愛タキ等是也。

七 感情。嬉シキ。悲シキ。惜シキ等是也。

形容詞之語尾變化。其用法與動詞相似。惟無命令格。共有二類。第一類爲

ク・シ・キ・ケレ・四種第二類爲シク・シ・シキ・シケレ・四種表中語根舉一字爲例表後就大文典中常用者之將然格例之如左。

形容詞活用		語根	將然格	連用格	終止格	連體格	已然格
第一類久行	淺		ク	ク	シ	キ	ケレ
第二類志久	戀		シク	シク	シ	シキ	シケレ

第一類久行形容詞。

淺ク	舊ク	眠タク	安ク	高ク	遠ク	近ク	赤ク	熱ク
寒ク	青ク	薄ク	廣ク	狹ク	遲ク	早ク	難ク	堅ク
重ク	輕ク	辛ク	甘ク	酸ク	醜ク	善ク	緩ク	易ク
固ク	賢ク	圓ク	太ク	細ク	幼ク	若ク	遙 ^{ハル} ク	靜 ^{シヅ} ケク
繁ク	露ケク	安ラケク		痛ク	長閑ケク			

第二類志久形容詞。

戀シク	新シク	美シク	賤シク	珍シク	恨メシク
悲シク	嬉シク	惡シク	甚ダシク	香シク	乏シク
涼シク	苦シク	忙シク	樂シク	痛マシク	煩シク
佗シク	空シク	正シク	騷ガシク	恥シク	望マシク
賑ハシク	願ハシク	精シク	疑ハシク	狂ハシク	懷カシク
逞シク	忌々シク	花々シク	睦マシク	親シク	悔シク
拂々シク	勇マシク	頼モシク	紛ハシク	烈シク	淋シク
久シク	病シク	怖ロシク	恰シク	苦々シク	晴々シク
大人シク	マ、シク				

形容詞之將然格。

言善クバ行モ亦善カテム。言善則行亦將善。ム。未定助動詞。

風涼シクバ納涼ニ行カム。風涼則將去納涼。

形容詞之連用格。

コノ冬ハ雪多ク降ル。此冬多降雪。降ル。用言也。

コノ冬ハ甚シク寒シ。此冬甚寒。寒シ。用言也。

形容詞之終止格。

夏ハ暑シ。夏暑。語氣已完。

冬ハ寒シ。冬寒。

形容詞之連體格。

涼シキ風。涼風。風。體言也。

白キ花。白花。花。體言也。

形容詞之已然格。

水清ケレバ魚住マズ。水清則無魚。

人ハ多ケレド真ノ人ハ少シ。人雖多而善者少

形容詞將然已然兩格。其文句內皆用バ字。而語氣有別。如バ上爲ク。卽知其下必接將然口氣。バ上爲ケレ。其下必接已然口氣。是也。如文句解釋章所云條件呼應者。亦以バ字分別。如前列句中バ字上之半句曰條件。バ字下之半句曰呼應。其實毫無深意。不過文典中多立記號。眩人心目耳。

形容詞語尾有接以ミ・サ・ゲ・三字者。因形容詞已爲名詞也。故與前表不合。略舉如左。

形容詞後接ミ者。

物ノ厚。ミヲ量ル。量物之厚。

形容詞後接サ者。

山ノ高。サヲ測ル。測山之高。

形容詞後接ゲ者。

コノ淵ハ深^〇ゲニ見^〇ニ觀此淵是深。

形容詞語尾省略キ字。直接以名詞者。若遠山。深海。大樹。曠野等是也。亦有結以キ字。或シキ字。下不接名詞。卽自爲名詞者。如粗キ。善キ。青キ。熱キ。白キ等是也。如語中遇キ與シニ二字。均變爲イク字。卽變爲ウ。文中亦偶有之。多閱東文書。自能明晰。

形容詞語尾假名。字典上無可查檢。亦不知爲何段活用之變化者。此種乃省音也。如善クアラ。約爲善カラ。飽キテアラ。約爲飽ケラ。由是而知形容詞ク與シク下接アリ等者。其クシク與ア。可約爲カ。動詞連用格下接テ又接アリ等者。其約音甚多。約法詳音韻章。

第九章 接續詞

接續詞者。上句與下句。或上節與下節之間。接續成文之虛字也。其下之假名無變化。有以他種詞變成者。如左。

雨降リ。且風吹ク。雨降且風吹。

秦カ漢カ將近代。秦乎漢乎。將近代乎。

能ク學ビ。又能ク遊ブ。善學又善游。

文ヲ學ヒ。或ハ武ヲ研ク。學文或研武。

山マタ山ヲ越エ行ク。越山又越山而行。マタ。又也。

書ヲ讀ミ。且ツ文ヲ作ル。讀書且作文。

コレヲ求ムルカ抑コレヲ與フルカ。求之與。抑與之與。

此筆ハ書ニモ宜シク。亦畫ニモヨロシ。此筆宜寫亦宜畫。ヨロシ。宜也。

物理及化學ハ自然科學ナリ。物理及化學乃自然科學也。

知リテナサバリシカ抑忘レタリシカ。知而不爲乎抑忘乎。

重盛ハ國ニ忠ヲ致シ且父ニ孝ヲ竭セリ。重盛是致忠於國且盡孝於父。

接續詞可分二種。一本來之接續詞。二添助詞於他種詞而成者。如左。

本來之接續者。

マタ又。カツ且。ハタ將。モシ若。アルハ或。アルヒハ或。

オヨビ及。タトヒ假令。タダシ但。スナハチ即。

添助詞バドドモニテ等於動詞或名詞而成接續詞者。

サレバ然則。シカラバ然。サレドモ雖然。サルニ而。

サレド雖然。例ヘバ譬如。然ルニ然而。程ニ此間。

并ビニ并且。此故ニ因此。依リテ。就キテ。

而シテ。是ニ由リテ。

添助詞テ於副詞サ(然)又カク(斯)之下而成接續詞者。

サテ 然而・或作緒・カクテ 斯而。

添助詞モニ於代名詞ソコ等下而成接續詞者。

ソモ 抑。ソモノ 抑。

用於文字之間。作或字解者。與漢字同。用於文字之首。作語中一體解者。與漢字異。

コ、ニ 於此

有重以種種之詞而成接續詞者。

カ、ル時ニ 斯時。

コ、ニ於テ 於此。

カ、リケレバ 然則。

コノ故ニ 此故。

サル程ニ 然此間。

程ニ 與ソノ間ニ同。

第十章 助動詞

助動詞者。附於動詞之下。助動詞之意味以補其不足也。皆寫假名。有助於他助動詞下。有偶置於名詞代名詞形容詞下者。約分十三類。曰能動。受動。使動。被使動。斷定。否定。推量。希望。詠歎。比況。第一過去。又曰半過去。第二過去。未來。等類。

每類述數則以爲例。讀者須於各例中助動詞與所例各表互相參考。不難閱
 東文書矣。

助動詞活用表

動使			動受		動能		將然格
シ メ	サ セ セ		ラ レ	レ	ラ レ	レ	
シ メ	サ セ セ		ラ レ	レ	ラ レ	レ	終止格
シ ム	サ ス ス		ラ ル	ル	ラ ル	ル	連體格
シ ム ル	サ ス ル ス ル		ラ ル ル	ル ル	ラ ル ル	ル ル	已然格
シ ム レ	サ ス レ		ラ ル レ	ル レ	ラ ル レ	ル レ	說各種詞接續。
然一 格切	變二 之段 將一 然格	將四 然格 奈行 良行 變之	變二 之段 將一 然格	將四 然格 奈行 良行 變之	變二 之段 將一 然格	將四 然格 奈行 良行 變之	
使令	使令	使令	被	被	能	能	漢訓

推	定 否	定 斷	動 使 被
	マ ジ ク ザ ラ ズ	タ ナ ラ ナ ラ	シ メ ラ レ サ セ ラ レ セ ラ レ
メ リ	マ ジ ク ザ リ ズ	タ ナ リ ナ リ	シ メ ラ レ サ セ ラ レ セ ラ レ
メ ラ ム	マ ジ ク ザ リ ズ	タ ナ リ ナ リ	シ メ ラ ル サ セ ラ ル セ ラ ル
メ ラ ム	マ ジ ク ザ ル ヌ	タ ナ ル ナ ル	シ メ ラ ル ル サ セ ラ ル ル セ ラ ル ル
メ ラ メ	マ ジ ク ザ レ ネ	タ ナ レ ナ レ	シ メ ラ ル レ サ セ ラ ル レ セ ラ ル レ
他眞 一行 切變 之之 終連 止體 格格	然一 格切 動詞 之將 他眞 一行 切變 之之 終連 止體 格格	然一 格切 動詞 之將 然一 格切 動詞 之將	續體 於格 動詞 之下 體一 格切 動詞 之連 然一 格切 動詞 之將 變二 段將 然一 格加 行左 行 將四 然段 格奈 行眞 行變 之
想 當	未 必 否 不 有 不	兮 也	被 使 被 使 被 使

過 一 第			況比	歎 詠	望 希	量			
タ			ゴ トク		タ ク	ベ ク			
ラ	ナ	テ	ゴ トク		タ ク	ベ ク			
タ			ゴ トシ	ケ ナ リ	ナ タ ム シ	ベ ケ ラ シ			
リ	ヌ	ツ	ゴ トキ	ケ ナ ル	ナ ク キ	ベ ケ ム シ			
タル	ヌル	ツル	ゴ トケレ	ケ ナ レ	ク ケ メ レ	ベ ケ ケ メ ラ シ			
用一 格切	用一 格切	用一 格切	體一 格切	用一 格切	然一 格切	用一 格切	他真 一行 切變	用一 格切	他真 一行 切變
動 詞 之 連	動 詞 之 連	動 詞 之 連	動 詞 之 連	動 詞 之 連	動 詞 之 將	動 詞 之 連	動 詞 之 連	動 詞 之 連	動 詞 之 連
畢	畢	畢	若 如	哉	哉	望	願	可	測 度
									測 度

來	未	第二過去		去
マセ			ケラ	ラ
			ケリ	リ
マシ	ム	キ	ケリ	リ
マシ	ム	シ	ケル	ル
マシカ	メ	シカ	ケレ	レ
然一格切	然一格切	用一格切	用一格切	下用於
動詞之將	動詞之將	動詞之連	動詞之連	已然格之
將	將	已經	已經	畢

以上各表須留意記誦其讀法如第一類能動レ・レ・ル・ルル・ルレ四段
 奈行良行變之將然格能也餘按類每行仿此讀之

第一類能動詞者形容自己力量能爲之意也用ルラル等其名詞下每助以
 ハ字如左

我レハ國文モ讀マレ外國ノ文モ讀マル之義下又加亦字者常例也讀マレ之レ字

即ル字之連用格檢表自知下
 類推マ字動字之將然格

我レハ暑サニモ堪ヘラレ寒サニモ堪ヘラ我暴能堪・寒亦能堪・即ラレ之連用格ル

第二類受動詞者形容自己受他人動作之意也。用ル・ラル・等其名詞下每助以ニ字如左。

人ニ打タル爲人所打。

人ニ教ヘラル爲人所教。

犬ニ噛マル爲犬所噛。

父母ニ育テラレ師ニ教ヘラル爲父母所育・爲師所教・ラレ・即ラル之連用格。

能動詞與受動詞均用ル與ラル者字雖同用ル與ラル而語氣各有分別。凡受動詞句中常有某ニ某等字樣如上人ニ犬ニ等句是也。此名標準語句中無標準語者多係能動也。能動之ル與ラル即能也可也。得也。受動之ル與ラ即受也。被也。所也。ル可助於四段活用ナ行變格ヲ行變格之將然格下ラ

ル可助於上二段下二段上一段下一段及カ行變格サ行變格之將然格下。觀前所引之句即知凡各類助動詞可助於何段何格之下已詳註於表中末層閱之自明。

第三類使動詞者形容自己使他人動作之意也。用ス・サス・シム・等其名詞下每助ヲ字如左。

字ヲ書カス使寫字

賊ヲ平ゲシム使平賊

子供ニ書ヲ讀マセ文ヲ書カス使童子讀書寫字セ即ス之連用格

善キ友ヲ擇バセ惡シキ友ヲ捨テサス使擇善友捨惡友セ即ス之連用格

善キ友ヲ擇バシメ惡シキ友ヲ捨テシム使擇善友捨惡友シメ即シム之連用格蓋既用

シム・必用シメ爲連用格・若既用ス・必用セ爲連用格・此定例也

第四類被使動詞者形容他人使我動作之意也。以使動詞之 ス・サス・シ

ム・與受動之ラル相合爲一。卽爲被使動詞也。如左。

文字ヲ習ハセラル。使我習字。

書ヲ讀マシメラル。使我讀書。

勉強サセラル。使我勉強。

第五類斷定詞者。形容毫無疑義而斷定之也。用ナリタリ如左。

老子ハ楚ノ人ナリ。名ハ耳字ハ聃。周ノ守藏ノ吏タリ。老子者。楚之人也。名耳。

字聃。周之守藏吏也。

人ハ人ナリ。我ハ我タリ。人是我。我是我。

東京ハ日本ノ帝都ナリ。東京爲日本之國都。

第六類否定詞者。不然也。用ズ・ザリ。若預料未來之事。則用マジ・ジ。略述數句并解釋。如左。

書モ讀マズ。文モ作ラザリケリ。不讀書亦不作文。ケリ。過去助動詞。

明日ハナホ花ハ咲クマシ。明日花尙應未開。

國恩ハ永ク忘レシ。國恩永不忘。

ズ不也。常連於動詞之將然格。如飽カズ。不飽。飽カ。將然也。閱前表未層卽

知。惟書中常省去濁音記號。僅寫爲ス。如在將然格下。必作不字解。不可誤

作語尾用。

ザリ。乃ズアリ之約ズ不也。アリ有也。其本義爲不有二字。今約爲ザリ。徑

作助動詞用。與ズ同。

マジ。否也。推測之詞。與終止格相連。如言フマジ。言否。言フ終止格也。

シ。未必也。與動詞將然格相連。如受ケシ。未必受。受ケ。將然格也。

書中常見一句中上有未ダ。下有ズ字。或ザリ等字。若作未不二字解。則上

下語句相反不可不辨。蓋未ダ在一句之首副詞也。未ダ即マダ作尙字解。上有尙字。下有不字。即尙不也。恰合一未字之意。日本借用漢字時。誤以尙爲未字解。故作未ダ也。

第七類推量詞者。將未定之事物想像而臆斷之也。分五種如左。

一以現在自己所思之事。推量以爲當然者用ラム。如左。

ワガマ心ハ神ゾ知ルラム。我之誠心神當知道。ワ。我也。代名。

花咲クラム。花當開。雪降ラバ寒カラム。雪降則應寒。

二以現在自己所見之事。推量而形容其狀態者用メリ。如左。

龍田川紅葉亂レテ流ルメリ。渡ラバ錦中ヤタエナム。龍田川紅葉亂流如錦。欲度則恐錦中斷。タエ。

間斷也。ナム。
助詞有想像之意。

三有稍可證據之物。推量以爲當如此者用ラシ。如左。

深山ニハ霰降ルラシ外山ナルマサ木ノ蔓色ヅキニケリ可知深山霰降外山之蔓草已變黃矣。

雪消ノ水ゾ今マサルラシ雪融之水今應增。

四有爲過去不定之事而推量者用ケム如左。

古ヘニアリケム人ノ求メツ、衣ニ摺リケム眞野ノ榛原眞野多榛。想古人

或求之染其衣。

五有據事而推量以爲當然者用ベシ如左。

我行クベシ我當行。斯アルベシ斯當有。疾ク行クベシ當快走曷。

偽リテモ賢ヲ學ブモノハ賢ト云フベシ雖偽學賢者。可以謂賢矣。

第八類希望詞有希望其成就之意也。用タシナム如左。

人ニアリタキハ誠ノ心ナリ於人宜有者。誠心是也。アリ。有也。タキ。即タシ之連體格。

賢キ人トナラナム。希爲賢人。ナム。接動詞ナル(成)之將然格ナラ。而有希望之意。○ナム接將然格。爲希望吩咐之意。接連用格。爲想像之意。不可混同。

第九類詠歎詞。感於事物發爲悠然不盡之詞也。每見於詩歌。用ナリケリ。如左。

谷ノ鶯春ヲ告グナリ。谷中之鶯告春也。 深山ニハ松ノ雪ダニ消エナクニ

都ハ野邊ノ若菜ツミケリ。深山之松雪尙未消。而都中已擷嫩菜矣。 秋ノ野ニ人マツ蟲ノ聲スナ

リ。我レカト行キテイザトフrahム。秋野有蟲鳴。其聲凄絕。似待人來。非待我乎。行將訪之。

詠歎詞ナリ與斷定詞ナリ異。連於動詞連體格者。斷定詞也。連於終止格者。詠歎詞也。惟詠歎詞之ナリ。亦用於ラ行變格之連體格下。當留意。

第十類比況詞。有比譬之意也。用ゴトシ。如左。

花ハ錦ノ如シ。花如錦。 歲月ハ流ル、如シ。歲月如流。如シ。即ゴトシ也。

第十一類第一過去詞。動作甫畢。或尙有連續未終之意。即最近於現在之過

去也。故亦稱半過去。用ツ・ヌ・タリ。如左。

花咲キヌ。花開矣。ソノ人ハ今見ツ。其人今已見。

今馬ヨリ落チタリ。今已從馬上落下。

ツ與ヌ兩字用法各異。凡有不自然之勢則用ツ。自然之時則ヌ。故欲語勢強則用ツ。欲語勢弱則用ヌ。

タリ與ツ同。其用法有爲斷定。有爲半過去。半過去之タリ。卽テアリ之約。テ卽ツ之連用格。テ字非助詞之テ。故仍接於連用格下。若斷定類之タリ。亦接於連用格。半過去詞廣文典內有セリ・ケリ・等者。蓋セリ卽シテアリ之約。シテア。卽ツ。字連用格テ。ケリ・テリ・ヘリ・レリ・メリ。等皆省約之詞。如將テ字下ケ字下等之リ字別爲一字。則誤解矣。故見セリ卽可斷其爲シテアリ之約。タリ卽テアリ之約。ケリ・テリ・等卽キテアリチテアリ之約。此類之

ケリ・與下ケリ異。

第十二類第二過去詞者。較第一過去之時稍遠也。用ケリ・キ・等。如左。

昔男アリケリ。昔有男子。

歌ノ心ヲ知レル者僅ニ一人二人ナリキ。眞解歌者。僅ニ二人而已。

又有爲第三過去詞者。即於ツ・ヌ・タリ・之連用格テ・ニ・タリ・之下。

助以タリ・ケリ・キ・等字。如左。

花咲キニキ。花開已久。木ハ枯レタリキ。木久枯矣。

馬ノ上ヨリ落チテケリ。曾從馬上落下。

第十三類未來詞者。與過去相反。預言未來之動作也。如左。

書ヲ讀マム。將讀書。風吹カム。將起風。梅咲カム。梅欲開。

早ク起キム。將早起。明日ハ雨降ラム。明日將下雨。

未來詞古或用モ。今希見。又或引其聲爲マク。又或略之爲ム。皆古變例也。
 ム字與動詞連用格相連。有變爲推想之過去者。分三類。如左。
 推想之半過去。

テム ナム タラム

推想之過去。

ケム

推想之已過去。

テケム ニケム タリケム

助動詞内之被使動時變其意義而爲敬語。以表尊敬之意。如左。

上野ニ御幸アラセラレタリ。(日皇幸上野)

今日東京ニ入ラセラレ。(日皇今日入東京)

助動詞有命令語者。即命令他人之語也。每助以ヨ・ベシ・等如左。

子ハ子タル道ヲ守ルベシ。子可守子之道。ベシ。應字之義。

風甚ダ冷キニヨリ請フ戸ヲ閉ヂヨ。因風甚冷請關門。

助動詞之メリ者。爲推量助動詞。メリ即ミエアリ之省約也。ミエアリ見着也。今徑作爲助動詞。如見事物之狀態然而推量之也。每接於動詞終止格。又接於ラ行變格之連體格。如左。

アハレ今年ノ秋モ往ヌメリ。呵噫今年之秋似也已經去了。往ヌ。終止格。

助動詞之マシ。爲推量未來欲然之詞。每接於動詞將然格。如左。

報イマシ。將欲報之。報イ。將然格。マシ。將欲也。

第十一章 感動詞

感動詞者。感於他物而發爲悲喜驚恐歎賞之詞也。如左。

ア。大變。呀。不得了。ア。熱シ。呀。很熱。

ア。ハレ。昔。ナツ。カシ。キ。月。ノ。影。カ。ナ。如此月光不堪懷舊之情。

ア。ナ。面白。ノ。春。ノ。夜。呀。噫。有趣之春夜哉。

ア。ナ。恐。ロ。シ。キ。姿。ヤ。ナ。噫。可恐之容貌哉。

ス。ハ。一。大。事。コ。ソ。起。リ。タ。リ。呀。一。大。事。起。矣。

ア。ハ。レ。悲。シ。キ。カ。モ。噫。悲。哉。

蝶。ヨ。花。ヨ。蝶。兮。花。兮。ヤ。ヨ。我。ガ。子。呀。我的子。

イ。デ。ヤ。語。ラ。ム。今。我。語。之。イ。デ。目。ニ。モ。ノ。見。セ。ム。今。使。汝。知。可。恐。

イ。ザ。子。ド。モ。大。和。へ。早。ク。來。快。到。大。和。

ヤ。ア。誰。レ。カ。ア。ル。呀。有。誰。ヤ。失。策。シ。タ。リ。呀。失。策。矣。

以上句中之感動詞、或爲悲喜之詞、或爲催促之意、可分類列之、如左。

感動詞之用在句首者約可分八類如左。

一喜悅詞。ア、。アナ。ア。アハレ。作嘻字解。

二歎賞詞。ア、。アツバレ。アハレ。作美哉解。

三恐怖詞。ア、。アナ。ア。ヤ。作呀字解。

四悲哀詞。ア、。アナ。アハレ。作噫字解。

五驚愕詞。ア。アハヤ。作惡字解。

六呼發詞。ヤ。ヤヨ。ナウ。作呀字解。

七奮發詞。イデ。作呀字解。

八引誘詞。イザ。有催促意。可作引字率字解。

感動詞之在句末者約可分五類如左。

一詠歎詞。ヤ。ヨ。ヲ。モ。ナ。カ。ヤモ。

爲我有所思時而發之詞。

ヤナ。 ナモ。 カモ。 カヤ。 ハヤ。 カナ。

作猗歎悲哉解。

二驚歎詞。

ハ。 モ。 ハモ。

有何者之意。

三希望詞。

ガ。 ガナ。 ガモ。

作請字願字望字解。

四呼掛詞。

ヤ。 ヨ。 ナ。 ヨヤ。

有使令之意。

五強抑詞。

ヲ。 ヨ。 エ。 カシ。

強其所爲而發之詞。

感動詞與助詞中皆有ヤ字。用法各異。助詞之ヤ。其上必承終止格。其下所連屬必爲連體格。否則皆感動詞也。

感動詞與助詞皆有モ與ハ兩字。用法亦異。若モ字ハ字在語末及ヤカ之下。皆爲感動詞。餘與助詞亦字是字同。

第十二章 助詞

助詞者。助於文章語言之間。以形容上下句語氣相關之意也。其總名爲天爾遠波。即テニヲハ四字也。種類最繁。亦無一定之例。約可分七類。曰主格之助詞。曰領格之助詞。曰副賓格之助詞。曰賓格之助詞。曰接續之助詞。曰疑問之助詞。曰種種之助詞。解釋如左。

主格下之助詞最要者有四字。ハ・モ・ガ・ノ是也。

ハ字者。指定事物。且舉一使知二之意。其例如左。

人ハ去リ我ハ留ル。人是去我是留。

柳ハ綠ニ花ハ紅ナリ。柳是綠花是紅也。

鄭成功ハ鄭芝龍ノ子ニシテ母ハ日本人ナリ。鄭成功者。爲鄭芝龍之子。而母是日本人也。ニシテ。爲某某而某某也。

ハ字作者字解者。如中庸之仁者人也。義者宜也。

モ字者。有並稱同等事物之意。可作亦字解。尙有疊用兩モ字。如左。

私モ行ク人モ行ク。我也走人也走。

父モ尊ク母モ尊シ。父尊母亦尊。

善クモアラズ惡シクモナシ。不善亦不惡。

讀ムモヨシ書クモヨシ。讀書好寫字亦好。

ガ字者。上承名詞。下接動詞者也。以示其動作爲名詞所自主也。其用法與ハ

字相似。語中用ガ。文中用ハ。譯書時可省。與領格之ガ字異。如左。

鳥ガ歌ヒ蝶ガ舞フ。鳥歌蝶舞。風ガ吹ク花ガ散ル。風吹花散。

ノ字者。其用與ガ字相同。而語氣稍弱。與領格之ノ字異。如左。

花オチテ蝶ノ舞フ。花落而蝶舞。オツル。落也。

稻葉ソヨギテ秋風ノ吹ク。稻葉戰而秋風吹。ソヨギ。戰也。

領格下之助詞最要者有三字ノ・ガ・ツ・是也。

ノ字者用於兩名詞之間以示下之名詞爲上之名詞所有也。可作之字解。如左。

櫻ノ花。櫻之花。

人ノ心。人之心。

日本ノ人。日本之人。

吉人ノ辭ハ寡シ。吉人之辭寡。

躁人ノ辭ハ多シ。躁人之辭多。

ガ字者與ノ字義相同亦用於兩名詞間可作的字解如左。

ワガ國。我的國。

佐渡ガ島。佐渡的島。

領格主格下皆有ガ與ノ二字。領格下ガ與ノ其後必接名詞。主格下ガ與ノ其後必接動詞。蓋文句中或爲主格或爲領格者皆因助詞下動詞名詞而分也。

ツ字者用於古書且有一定今則罕用其義與ノ字大略相同而其用則狹如

左。

天ツ風。天的風。 國ツ神。國的神。

副賓格下之助詞最要者有九字。ニ。ヘ。ト。ニ。テ。モ。テ。シ。テ。ヨ。リ。カ。ラ。マ。デ。是也。ニ字者。用於名詞之下。動詞之上。示動詞有動作於名詞也。可作於字解。如左。

學校ニ行ク。往於學堂。 師ニ問フ。問於師。

道ニ聽キテ途ニ説ク。聽於道而説於塗。即道聽塗説也。

～字者。用法與ニ相似。惟ニ則示地位。～則示方向也。有時亦可通用。如左。

左へ向フ。向左。 前へ行ク。行前。 雁北へ歸ル。雁歸於北。

水海へ流ル。水流於海。

ト字者。其義共有數種。此則用於副賓格。如左。

汝ヲ兄ト思フ。以汝爲兄。 父母ト語ル。與父母語。

ニテ者用以指示動作之方便及位置等有。用字以字之意。又有因於。在於之意。如左。

刀ニテ斬ル。用刀斬。筆ニテ書ク。用筆寫。

家ニテ遊ブ。遊於家。京ニテ遇フ。遇於京。

舟ニテ渡ル。以舟渡。病氣ニテ學校ヲ休ム。因病不上學。

モテ者用以指示動作之方便及事物等。可作以字解。如左。

筆モテ書ク。以筆書。手モテ教フ。以手教。

石モテ打ツ。以石打。

シテ者用以指示動作之方便及位置等有。在字着字之意。如左。

人ヲシテ告グヤル。使人告。旅ニシテ年ヲ暮ラス。作客過年。

ヨリ者用以指示其動作之始及原因也。作由字解。與カラ相同。文句用ヨリ。

語中用カラ如左。

雲山ヨリ出ヅ。雲從山出。

雲山カラ出ヅ。雲從山出。

舟湊ヨリ出ヅ。舟從湊出。

舟湊カラ出ヅ。舟從湊出。

學校ヨリ歸ヘル。歸自學堂。

學校カラ歸ヘル。歸自學堂。カラ。自也。

マデ者。指示動作之究竟也。作至字解。如左。

蝦夷ノハテマデ行ク。行至蝦夷之極邊。

始メヨリ終リマデ見ル。看到自始至終。

賓格下之助詞爲ヲ字。以示ヲ字下之動詞。動作ヲ字上之賓格也。如左。

書ヲ讀ム。即讀書。飯ヲ食フ。即食飯。書與飯。皆賓格也。讀與食。皆他動詞也。

家ニ離ル。即離家。人ニ別ル。即別人。家與人。皆賓格也。離與別。皆自動詞也。

接續之助詞在語句之間以接續上下語句者有十一字。バ・ニ・ト・テ・ト
モ・ド・ド・モ・ヲ・ガ・ツツ・デ・是也。

バ字者。用於上下語句之意相應時。有若字則字之意。如左。

梅咲カバ。鶯鳴カム。梅開則鶯鳴。バ與將然格相連。爲未定。咲カ。將然格也。

風吹ケバ。波立ツ。風吹則波立。バ與已然格相連。爲已定。吹ケ。已然格也。

バ字上接ヲ與ン。則其義仍與ハ同也。如左。

茶ヲバ。飲メド。酒ヲバ。飲マズ。雖飲茶不飲酒。

行カズンバ。アラズ。不敢不行。ン。即ム之變。無則字意。

ニ字者。亦用於上下語句之意不相應時。有雖字於字因字向字之意。如左。

梅咲キタルニ。鶯鳴カヌ。梅雖開而鶯不鳴。

風モ吹カヌニ。花ハ散ル。風雖不吹而花散。

人ニ問フ問於人。花見ニ往ク因看花去。

英國ニ往ク向英國去。

ト字者有指定之義如左。

梅咲キタリト鶯ニ知ラセム。告鶯以梅開之信。

博愛之ヲ仁トイフ博愛之謂仁。

ト字者又有與字之義。

能ク世ト推シ移ル能與世推移。我ト汝ト我與汝。

テ字者承上接下詞用於上下語句之意相應者。作而字解。可接動詞助動詞形容詞之連用格。如左。

梅咲キテ鶯鳴ク梅開而鶯鳴。

トモ者用於上下語句之意不相應者。有雖字意。可接動詞之終止格。形容詞

之將然格及助動詞之終止格爲未定之意如左。

人ハ打ツトモ汝ハ打ツナ人雖打汝勿打。打ツ。爲動詞之終止格也。ナ。助詞禁止動作之詞。

惜シクドモ捨テム雖可惜終將捨去。惜シク。爲形容詞之將然格也。

ド字之意同トモ惟與動詞助動詞形容詞之已然格相接故爲已定作雖字解如左。

問ヘド答ヘズ雖問不答。問ヘ。動詞之已然格也。

惜シケレド捨ツ雖可惜而終捨去。惜シケレ。形容詞之已然格。

ドモ者其用法與ド字相同如左。

問ヘドモ答ヘズ雖問不答。問ヘ。動詞之已然格也。

春立テドモ花咲カズ雖立春花不開。立テ。動詞之已然格也。

ヲ字者處置事物亦用於上下語句之意不相應者其下必接動詞有雖字將

字意如左。

我レハ彼レヲ愛スルヲ彼レハ我ヲ愛セズ。我雖愛彼而彼不愛我。

「彼ヲ」之ヲ者。異「愛スルヲ」之ヲ。「彼ヲ」之ヲ者。指所動作之目的。而「愛スルヲ」之ヲ者。有雖字之意。

字ヲ書キ本ヲ讀ム。將書讀將字寫。

兩ヲ字皆指定所動作之目的。不可與雖字混同。

ガ字者。亦用於上下語句之意。不相應者。有雖字意。如左。

花ハ咲キタリシガ。既ニ散リス。花雖開而已散。

ツツ者。重用半過去之ツ字。卽且字之意。每用於二動作並用之時。如左。

讀ミツツ。書ク。且讀且書。 花ヲ見ツツ。酒ヲ飲ム。且看花。且飲酒。

月ヲ見ツツ。昔ヲ語ル。且看月。且懷舊。

デ字者。即ズテ。或ズシテ。之約。即不而或不而之意也。亦用於上下語句之意。不相應者。如左。

待ッ人ハ來^ホデ思ハヌ人來レリ。所待之人不來。而不想之人來。

疑問之助詞有二。一爲ヤ。一爲カ。

ヤ字者。有疑問之義。可作耶字解。如左。

花ヲヤ見ルラム蝶ヲヤ逐^ツフラム。看花耶。逐蝶耶。

ワガ思フ人ハアリヤナシヤ。我所思之人有耶無耶。

カ字之用。同於ヤ字。可作乎字解。如左。

峯ノ嵐カ。松風カ。尋^ムヌル人ノ琴ノ音カ。山風乎。松風乎。尋人之琴之音乎。

彼方ニ見ユルハ雲カ。島根カ。彼方所見者。雲乎島根乎。

種種之助詞者。無可歸類。亦有十一字。ゾ。コソ。ノミ。バカリ。ダニ。スラ。

サへ・ヨリ・ゾ・カシ・シ・是也。

ゾ字者日本均云無漢義可註。今悟ゾ即漢文夜如何其若之何其之其也。又有乎字義如左。

花ゾ落ツル花其落矣。 讀ミタルゾ已讀其。

幾世歴シ磯邊ノ松ゾ磯邊之松歴數世乎。

又ゾ與カシ者皆置語末有強其語勢之意如左。

彼ハ誰ゾ彼爲誰。 アハレナリカシ可憐可憐。

コソ者其本字爲此其二字。此也ソ其也二字並用。有取一舍多之意。凡輕前重後等語氣用之。較ゾ之語氣稍硬。其句末必爲已然格。如左。

花コソ咲ケ 花乎開罷。 月ヲコソ見レ月乎看曠。

花コソメツ レ 花乎可愛。

ノミ與バカリ者。皆表有一無二之意。ノミ。但也。而已也。耳也。バカリ。惟也。如左。

我ノミ知ル。但我知耳。

君ヲノミ思フ。思君而已。

我バカリアリ。計惟有我。

名バカリニテ實ナシ。惟有名而無實。

ダニ者。舉事物之輕者。引證其餘之重者。於言外之意則用之。有況字及尙且意。如左。

人ヲモツテ鳥ニダニ。如カザルベケンヤ。可以人而不如鳥乎。モツ。以也。

犬ダニ忠義ヲ知ル。犬尙且知忠義。

糟糠ニダニ飽クコト能ハズマシテ美食ヲヤ。糟糠不能飽。况美食乎。マシテ。况也。

蔓草ダニ猶除クベカラズ。況ヤ君ノ寵弟ヲヤ。蔓草猶不可除。况君之寵弟乎。其他有ダ。

モ者。俗通ダニ。自ダニ。モ。轉訛者。

スラ者。即ソレ之轉音。與ダニ同用。有尙字之意。如左。

亂世ニスラ。然リマシテ太平ノ時ニ於テヲヤ。亂世尙然。况於太平之時乎。マシテ。况也。

犬。スラ恩ヲ知ル。犬尙知恩。

サへ者。於一事之上。又表一事之重至者。每用之。有至字意。如左。

春雨ケフ降リヌアスサへ降ラバ若菜摘ミテム。春雨今日已落。落到明朝。則將摘嫩菜。ケフ。今日也。アス。明

日也。

ヨリ者。有比較之意。如左。

山ヨリ高シ。比山高。コレヨリ善シ。比此善。

月ハ花ヨリモ紅葉ヨリモ雪ヨリモ面白シ。月比花比紅葉比雪更有面白。面白。有趣也。

シ者。用於語句間。其意與ソ字同。亦爲強其語勢之助詞也。如左。

神シ。知ラナム。神夫將已知。シ。有夫字之意。

蘆邊 ヲク鴨ノ羽ガヒニ霜降リテ寒キ夕ハ大和シ思ホ一蘆邊有鴨行羽上有霜如此寒夕

不堪思大和之情

論ト字用法用於兩名詞並列者則用兩ト字如書中引用他人之言其下必有一ト字以指定ト字上所引之語也凡遇以為云謂等字之上亦有一ト字以區別之如左

用兩ト字者

鄒ト魯ト戰フ鄒與魯戰 書ヲ讀ムト字ヲ書クト讀書與寫字

為指定ト字上所引之語者

晉ノ謝尙嘗テ客ニ陪スル時或人曰ク此子一坐ノ顏回ナリト尙曰ク

坐ニ尼父ナシ焉晉謝尙嘗於陪客時或人曰此子一坐之顏回也尙曰座無尼父焉別顏回

在云謂等字上之ト字者

細故ヲ争ヒ恨ムヲ忿兵ト云フ。人ノ土地ヲ利スルヲ貪兵ト云フ。争恨細故曰忿

兵・利人之土地曰貪兵。

銅ヲ以テ鑑ト爲ス。古ヲ以テ鑑ト爲ス。人ヲ以テ鑑ト爲ス。以銅爲鑑。以古爲鑑。以人爲鑑。

ナム者。自衆多中抽一物以指定之助詞也。其用法與助動詞希望之ナム及ナ與ム拼成者各異。如左。

カクナムアル。此何有。即夫何使我至於此極也之何。可類讀之。

柿本人麻呂ナム歌ノ聖ナリケル。柿本人麻呂者何。已成歌聖也。ケル已也。

第十三章 接詞

接詞者。連接首尾之詞也。分二種。接於詞首者。曰接頭詞。接於詞尾者。曰接尾詞是也。

接頭詞以漢文例之如左。

第一。當年。各書。諸人。數事。有名。第字當字各字諸字數字有字等皆爲接頭詞其理與和文同。

接頭詞和文有藉以發聲者曰發語詞其聲皆一音大概無多意義如左。

サ。衣。袂衣。　　サ。衣。小衣。　　サ。蕨。早蕨。　　ヲ。田。小田。　　ヲ。野。小野。

タ。易シ。容易。　　タ。忘ル。忘。　　カ。細シ。細。　　カ。黑シ。黑。

接尾詞以漢文例之如左。

一等。二個。五號。六次。幾度。何分。等字個字號字次字度字分字等皆爲接尾詞。

接尾詞如左。

心。アリゲ。有心之態也。ゲ。言事物之情態形狀也。

悪シ。サ。惡之狀也。サ。言事物之形狀程度也。

華族。ガタ。華族之家也。ガタ。方也。處也。方家也。

深^ミ。深也。ミ言方寸也。下仿此。高^ミ。高也。赤^ミ。赤也。

遠^サ。遠狀也。人^ゲ。人氣也。女^{バラ}。女儕也。

三^カ。三日也。カ。言日數也。二^ヘ。二重也。ヘ。言重之形也。

一^ツ。一個也。ツ。言個數也。山^ベ。山邊也。ベ。言邊之狀也。

海^ワ。海曲也。ワ。言曲之意。友^ド。朋友許多也。朋友曰トモダチ。略爲ドチ。

皇子^{タチ}。皇子等也。タチ。達也。亦等也。

男^{ドモ}。物^{ドモ}。男子等也。ドモ。共也。亦等也。

第十四章 文字連合

文字連合者。字與字連合。言與詞連合法也。共分十類。如左。

一體言與體言連合者。

都人。火鉢。春日。日光。筆架。酒杯。

二用言與用言連合者。

讀ミ始ム。習ヒ難シ。長ク住ム。久ク熱シ。早ク往ク。
微ク赤シ。

三體言與用言連合者。

花開ク。人行ク。冰融ク。天晴ル。日長シ。彼美シ。

四用言與體言連合者。

行ク人。凋ム花。貧キ民。新キ年。鈍キ刀。高キ樓。

五體言與體言間置助詞連合者。

花ト花。月ノ夜。我ガ身。國ナル親。

六用言與用言間置助詞連合者。

持チテ行ク。立チテ出ヅ。語リツ、睡ル。怒リツ、起ツ。

七體言與用言間置助詞連合者。

日ハ出ヅ。月モ傾ク。雪ガ降ル。山ニ上ル。

八用言與體言間置助動詞連合者。

泣クナル兒。傾キタル月。語ラヌ彼。睡ラザル彼。

九體言與用言間置形容詞而連合者。

風ハ烈ク吹ク。天ハ清ク晴ル。敵モ全ク亡ブ。

戰モ早ク己ム。

十用言與體言間置體言與助詞連合者。

嘶ク廐ノ馬。傾ク秋ノ月。

第十五章 文句解釋

文句解釋者。於文句中有許多假名。逐字解釋。明白透徹。使讀者知前列各表。

必須留意記誦。始可閱東文書。一目了然。無或疑義也。解釋如左。

少ニシテ學ヲ思ヒ。老テ教ヲ思ヒ。有テ施ヲ思フ。少而思學。老而思教。有而思施。

テ助詞。可作而字解。ニシテ者。爲某某而某某也。有時可省作而字。ヲ助詞。常在賓格下。示賓格下之動詞。以動作於賓格之上也。ヒ與フ。皆思字之語尾變化。思字爲ハ行之四段活用。思ヒ爲連用格。思フ爲終止格。檢前表卽知。

凡數事並列者。其前數句之末皆連用格。其末句語氣已完。故用終止格。此定例也。

忠ヲ盡シ國ニ報ユ。盡思報國。

ヲ解見前。シ爲盡字之連用格。其理與前之思ヒ同。ニ有於字意。報字爲上二段活用。ユ爲報字之終止格。

又解。忠字下用ヲ字者。因忠字爲賓格也。國字下不用ヲ者。因國字爲副賓格。故不用ヲ而用ニ。如恩ヲ以テ恨ニ報ユ。以恩報恨之句。亦同此例。

益ヲ得ル多シ。得益多。

ヲ。詳前。以後遇ヲ字皆不注。得ル。動詞。爲下二段活用之連體格。多シ。爲形容詞之終止格。

得ル。本爲連體格。必接名詞。今不接以名詞而接以多シ之形容詞者。此係省文也。因得ル之下。本有コト二字。コト。作事字解。名詞也。日本文中每用コト二字。如前句之意。爲得益事多。此事字本贅。往往省去。故直接以多シ之形容詞也。

恨ヲ報ユルコトヲ得。得報怨恨。

恨ヲ報イ得タリ。得報怨恨矣。

上二句意同而句異。報字爲上二段活用之動字。報ユル爲連體格。故與名詞コト字相連。報イ爲連用格。故與動詞得字相連。得字爲下二段活用之動詞。首句之得字。其音讀爲ウ。終止格也。次句之得字。其音讀爲エ。連用格也。故與タリ相連。タリ第一過去之助動詞也。以上諸字。須與前列各表互相參看。否則不能透徹。

彼處ニ書ヲ讀ムモノハタレゾ。在彼處讀書者誰乎。

ニ助詞。可作於字解。作在字亦可。ヲ解見前。讀ム之讀字。連體格也。檢表卽知。モノ代名詞。可作者字解。ハ助詞。返頓之意。タレ誰也。ゾ同乎。

書ヲ讀ミス。已讀書。

讀ミ爲四段活用之連用格。故與助動詞又相連。又助動詞之第一過去也。書ヲ讀マス。不讀書。

此句與前句相似。但讀字語尾マ爲四段活用之將然格。其下所接之ヌ字。作不字解。ヌ字在連用格下。則爲過去之助動詞。ヌ字在將然格下。則爲否定之助動詞。詳助動詞表末層。

此書ヲ讀ムハ易シ。讀此書是易。

讀ム連體格也。下省コト二字ハ助詞。有是字之意。易シ形容詞之終止格也。

讀ミ書キヲ能クス。能讀書寫字。

凡動詞有作名詞用者。動詞之語尾必爲連用格。讀ミ爲四段活用之連用格。作讀書解。名詞也。書キ爲四段活用之連用格。作寫字解。名詞也。能ク形容詞化爲副詞者也。ヌ字卽爲字。動詞也。

コノ門入ルベカラズ。此門不可入。

コノ代名詞此也。入ル動詞也。ベカラ可也。ズ不也。

コノ門ヲ入ルベカラズ。不可入此門。

此句與前句相似。惟門字下多一ヲ字。此門字爲賓格。其下改用ヲ。前句門字爲主格。其下不能用ヲ。而用ハ。ハ字亦可省去。

智者ハ禍ヲ未ダ萌サザルニ消ス。智者消禍於未萌。

智者主格也。禍賓格也。消ス他動詞之終止格也。未ダ作尙字解。ザル不也。尙不二字。恰完一未字之義ニ於也。

全權ヲ大臣ニ授ク。授全權於大臣。

賓格之ヲ字。每與動詞緊接。有與名詞緊接者。其名詞必爲副賓格。副賓格必有他動詞以示動作於副賓格也。全權爲賓格。大臣爲副賓格。授ク爲他動之終止格。此種句甚多。更舉二語於左。

汝ヲ兄ト思フ。以汝爲兄。ト。指定之詞。

余ハ君ヲ兄上ト仰ガム。君ハ余ヲ弟トモ見給ヘ。余仰君爲兄。君亦待我爲弟。

父トモ思ヒ師トモ仰グ。仰爲父師。

此トモ與作雖字解之トモ不同。蓋此ト字指定上文之詞也。モ亦也。其辨別之法。一接名詞。一接動詞。其文氣亦易辨別。

彼兒ハ父ノ命ヲ聽カヌカラソレニ打タル。彼兒不聽父命。故被打於父。

聽カ爲將然格。其下所接之ヌ字。作不字解。若ヌ與連用格相接。即過去詞。詳助動詞表內。カラ故也。ソ

レ代名詞。其也ニ於也。打タ將然格。故與受動詞ル相接。ソレニ三字省去

亦可。

我等ヲ人ニ怒ラレシムナ。勿使我等被怒於人。

怒ラ將然格。レ受動詞之連用格。シム使也。ナ勿也。禁止之詞。シム既爲終

止格。而復與ナ字相接者。因ナ字與ナ……ソ等有禁止之意也。皆用於終止格後。惟ラ行變格則用於連體格。

以上文句。皆有結束。其結束必有一定之規則。凡文章一句一節之末。必有一定之結束。其上半句。或上半節。必有與結束關係之助詞相連。此即所謂係結也。

結文章之末者。凡動詞形容詞助動詞皆可爲文章之結束。有用終止格爲結者。有用連體格爲結者。有用已然格爲結者。

以終止格爲結者。普通之結法也。句中助詞。每用ハ・モ・ノ・ガ・等。或不用助詞亦可。如左。

國榮ユ。國榮。句中無助詞。此以動詞之終止格爲結者。

志ハ甚善シ。志甚善。ハ。助詞。此以形容詞之終止格爲結者。

花ハ散リヌ。花已散。此以助動詞之終止格爲結者。

以連體格爲結者。凡文句中用。ヅ・ナム・ヤ・カ・等助詞。及ナヅ・イカガ・等副詞時。必以連體格結之。其語勢較以終止格結者稍強。如左。ナソ。何也。イカガ。

何故也。

國ゾ榮ユル。以下四句。譯語同前。惟語氣稍強。此以助詞之連體格爲結者。

國ナン榮ユルン。即ム音之轉。

志ゾ善キ。此以形容詞之連體格爲結者。

花ゾ散リヌル。此以助動詞之連體格爲結者。

以已然格爲結者。凡文句中用コソ之助詞。則必以已然格結之。其語氣較以連體格結者更強。如左。

國コソ榮ユレ。以下三句。譯語同前。而語氣最強。此以助動詞之已然格爲結者。

志コソ善ケレ。此以形容詞之已然格爲結者。

花コソ散リヌレ。此以助動詞之已然格爲結者。

凡係結之最宜留意者。形容詞與助動詞也。蓋形容詞以シ爲終止。キ爲連體。助動詞則有以キ爲終止。シ爲連體者。係結之外。尙有呼應者。整頓文中上下句之語氣語勢。如左。

書ヲ讀マバ智識ヲ得ム。讀書則應有智識。讀マ、將然格。ム、未來助動詞。上半句之示時爲未定。下半句之示時亦爲未定口氣。

書ヲ讀メバ智識ヲ得格。讀書則有智識。讀メ、已然格。得、其音爲ウ、終止。上半句之示時爲已定。故下半句之應亦爲已定口氣。

第十六章 文句逗頓

文句逗頓者。文字中詞句之斷續也。日本文字有テニヲハ四字。猶中國文字有之乎者也等字也。其要有二。一爲倒裝脈絡詞。一爲轉下詞。凡遇ニ・ヲ・兩字。爲倒裝脈絡詞。可將上下文句倒置讀之。如書ヲ讀ム。讀書。學校ニ往ク。往學。

校是也。凡遇テ・バ・兩字爲轉下詞。此二字下文之字。斷不能提於テバ之上。故以テ爲而字用。バ爲則字用。若ハ字不讀濁音。則以ハ爲者字用。宜作逗頓。不得爲轉下詞也。其文句大概先名詞。次動詞。又次助動詞。副詞則更在名詞之前。其中間之コト・トキ・モノ。等字。卽事・時物。三字。均無甚意義。不妨置之不論。至於斷句。須先識逗頓之法。如遇テ・ハ・バ・モ・ト。等字上之文句。均可少頓。如遇タリ・ナリ・アリ・ナシ・ベシ・ケリ・セリ・ナラム・ナレリ。等字。皆爲斷句之詞。若以形容詞比喻詞斷句者。則不加此等字。但加シ字。卽可斷句。如遇ヤ・カ・ニ字。則爲反動詞。可作乎字用。亦爲斷句詞。若語尾有ヨ・メ・等字。則爲命令詞之斷句也。如句中有ル・シ・兩字。或ナル・タル・者。必須連接下文讀之。不可斷句。此定例也。若學者欲講譯法。須通曉句中假名及虛字。何者有用。何者無用。則譯學一道思過半矣。

第十七章 合字 符號

合字者、日本文字中常用之字、用簡寫之法也、如左。

片假合字。

1 コト之合、事也。

𠄎 トモ之合、雖也。

メ シテ之合、而也、爲也。

平假合字。

と コト之合、事也。

之 ナリ之合、也也。

レ サレ之合、被也。

ハ サフアラフ之合、候也。

符號

片 トキ之合、時也。

𠄎 ドモ之合、雖也。

己 ヨリ之合、自也。

金 サマ之合、様也、即尊稱之字、猶大人也。

マ マラセ之合、奉也。

符號者。日本文字中最有關係處。另有筆畫及圈點等類。以作記也。如左。

「」用於成語或人言之右肩左腳。不即書卜字者。

丨用於假名之下。其假名宜延長其音讀之。用於假名旁。以示文之關係也。

〈〉假名二字以上重複者用之。

、假名一字重複者用之。

々漢字重複者用之。

∥用於字旁。以示文之關係也。

○用於字旁。以示文之關係也。用於字下。即斷句也。

第十八章 和字 新字

和字者。日本製造之字。與漢字相似也。略舉如左。

適 アツパレ
歎賞之意。

造 マツテ
造。

込^コム 裝入・雜沓。

込^スル 滑。

榊^{サカキ} 供神之樹名。

榊^{シキミ} 供佛之樹名・柏齒也。

楮^{サテ} 却說。

扱^{オド} 等。

扱^{アツカ}フ 接待・使用・處置。

揃^{ソロ}フ 整備。

凧^ナグ 風止波靜之意。

凧^{ツラサ} 風說。

开^ン 其。

辻^{ツツ} 十字街。

辻^ト 雖・到底。

杣^{ソノマ} 樵夫・伐材木之山。

儂^{ヘカチ} 苟且。

働^{ハタラ}ク 動作・勞動。

扱^サテ 却說。

拵^{コシラヘ}ル 倣作。

凧^{コガシ} 風落木葉之意。

簾^{ヨザ} 蓆也。

拵^{オキテ} 國法。

聞^{ツカヘ} 阻礙。

畑ヘタ 田・圃。

倮オモカク 面容。

賤シヤ 嫻習・庭訓。

糲カク 麩。

峠カワ 山路。

俵タラ 米袋。

杵ホコ 刀口。

悴セガレ 對人稱己子之詞。

珮タビ 紙鹿。

畠ヘタ 陸田・山田。

聽ミガク 忽。

筈ハツ 想像之意。

鮑アヘ 鮑魚。

鎚カスガ 騎釘・夾釘。

鯨タラ 巨口魚。

鵲セキ 黃鸝。

坏ツキ 酒杯。日本古時酒杯皆以土造。故曰土旁。

新字者。日本新撰之字。形似漢字。以譯泰西各國書中新器新語。漢文所無之字也。如左。

粃 邁當。

料 十邁當。

糶 百邁當。

秆 千邁當。

粉 邁當十分之一。

糶 邁當百分之一。

耗 邁當千分之一。

立 利德路。法升也。

哩 英里。

鎖 英里八十分之一。

碼 一鎰二十分之一。

呎 一碼三分之一。

瓦 古拉母。法升也。

匁 英重量。

匁 英重量。

匁 日本重量之符號。每匁重一錢。

第十九章 譯文

伊呂波歌 此歌本為佛偈。理甚精妙。今粗譯如左。

色者香 雖散 已經奈我的世 誰耶常 為將有為之 奧山

イロハニホヘトチリヌルヲワガヨタレンツネナラムウキノオクヤマ

今日越而淺夢見不醉亦爲不
ケフコエテアサキユメミジエヒモセズ

直譯

色者雖香。奈已經散。吾人的世。誰耶將爲常住。有爲之奧山。今日越矣。不見
淺夢。亦不爲醉。

譯意

色香雖云美。終奈散盡何。我觀人間世。何物是常住。
有爲之深山。今已踰越去。淺夢已醒盡。亦復不成醉。

論語三則

子游、武城ノ宰ト爲ル、子曰ク、女人ヲ得タリヤ、曰ク、澹臺滅明ナル者アリ、
行クニ、徑ニ由ラズ、公事ニ非ザレバ、未ダ嘗テ偃ノ室ニ至ラザルナリ、
子游爲武城宰、子曰、女得人焉爾乎、曰、有澹臺滅明者、行不由徑、非公事、未

嘗至於偃之室也。

冉求曰ク、子ノ道ヲ説バザルニ非ズ、力足ラザルナリ、子曰ク、力足ラザル者ハ、中道ニシテ廢ス、今汝ハ晝ス、凡動詞之讀漢音者其語尾用サ行變格如廢ス晝ス是也。

冉求曰、非不説子之道、力不足也、子曰、力不足者、中道而廢、今汝晝、

子曰ク、君子ハ、食飽クヲ求ムルナク、居安キヲ求ムルナク、事ニ敏ニシテ、言ヲ慎シミ、有道ニ就テ正ス、學ヲ好ムト謂フベキノミ、

子曰、君子食無求飽、居無求安、敏於事而慎於言、就有道而正焉、可謂好學也已。

孟子十則

景子曰ク、内ハ則チ父子、外ハ則チ君臣、人ノ大倫ナリ、父子ハ恩ヲ主トシ、君臣ハ敬ヲ主トス、丑、王ノ子ヲ敬スルヲ知ル、未ダ以テ王ヲ敬スル所以

ヲ見ザルナリト、孟子曰ク、惡是レ何ノ言ゾヤ、齊人仁義ヲ以テ王ト言フ
モノナシ、豈仁義ヲ以テ美ナラズトセンヤ、其心ニ曰ク、是レ何ゾ與ニ仁
義ヲ言フニ足ラント、爾カ云ハバ、則チ不敬是ヨリ大ナルハナシ、我レ堯
舜ノ道ニアラザレバ、敢テ王ノ前ニ陳ベズ、故ニ齊人我ガ王ヲ敬スルニ
如クハナシ

景子曰、内則父子、外則君臣、人之大倫也。父子主恩、君臣主敬。丑、見王之敬
子也。未見所以敬王也。孟子曰、惡是何言也。齊人無以仁義與王言者。豈以
仁義爲不美哉。其心曰、是何足與言仁義也。云爾。則不敬莫大乎是。我非堯
舜之道、不敢以陳於王前。故齊人莫如我敬王也。

天下ノ廣居ニ居、天下ノ正位ニ立チ、天下ノ大道ヲ行フ、志ヲ得レバ、民ト
之レニヨリ、志ヲ得ザレバ、獨リ其道ヲ行フ、富貴モ淫スルコト能ハズ、貧

賤モ移スコト能ハズ、威武モ屈スルコト能ハズ、此レ之ヲ大丈夫トシテ謂夫。
居天下之廣居、立天下之正位、行天下之大道、得志與民由之、不得志獨行
其道、富貴不能淫、貧賤不能移、威武不能屈、此之謂大丈夫。

堯舜ヨリ湯ニ至ルマデ、五百有餘歲、禹皋陶ノ如キハ、則チ見テ之ヲ知ル、
湯ノ如キハ、則チ聞キテ之ヲ知ル、湯ヨリ文王ニ至ルマデ、五百有餘歲、伊
尹萊朱ノ如キハ、則チ見テ之ヲ知リ、文王ノ如キハ、則チ聞キテ之ヲ知ル、
又文王ヨリ孔子ニ至ルマデ、五百有餘歲、太公望散宜生ノ如キハ、則チ見
テ之ヲ知リ、孔子ノ如キハ、則チ聞キテ之ヲ知ル、孔子ヨリ而來コトカマ今ニ至ル
マデ、僅カニ百有餘歲、聖人ノ世ヲ去ルコト斯クノ如ク、遠カラズ、聖人ノ
居ニ近キコトモ、マタ斯クノ如ク、甚ダシ、然レドモ猶爾ルコトアルナク
ンバ、即チ亦爾ルコトアルナケン。

由堯舜至於湯。五百有餘歲。若禹、臯、陶。則見而知之。若湯。則聞而知之。由湯至於文王。五百有餘歲。若伊、尹、萊、朱。則見而知之。若文王。則聞而知之。由文王至於孔子。五百有餘歲。若太公望、散宜生。則見而知之。若孔子。則聞而知之。由孔子而來。至於今。百有餘歲。去聖人之世。若此。其未遠也。近聖人之居。若此。其甚也。然而無有乎爾。則亦無有乎爾。

陳臻問フテ曰ク、前日齊ニ於テ、王兼金、一百ヲ餽ル、受ケズ、宋ニ於テ、七十鎰ヲ餽ル、受ク、薛ニ於テ、五十鎰ヲ餽ル、受ク、前日ノ受ケザル是ナラバ、則チ今日ノ受クルハ非ナラン、今日ノ受クル是ナラバ、則チ前日ノ受ケザル非ナラン、夫子必ズ一ニ此ニ居ラン、孟子曰ク、皆是ナリ、宋ニ在ルニ當ツテハ、予將ニ遠ク行クコトアラントス、行ク者ハ必ズ贖ヲ以テス、辭シテ曰ク、贖ヲ餽ルト、予何スレゾ受ケザランヤ、薛ニ在ルニ當ツテハ、予戒

心アリ、辭シテ曰ク、戒ヲ聞ク故ニ兵ノ爲メニ之ヲ餽ルト、予何スレゾ受ケザラン、齊ニ於ケル如キハ、則チ未ダ處スルコトアラズ、處スルコトナクシテ、之ヲ餽ルハ、是レ之ヲ貨ニスルナリ、焉ンゾ、君子ニシテ、貨ヲ以テ取ルベキアランヤ、

陳臻問曰、前日於齊、王餽兼金一百而不受、於宋、餽七十鎰而受、於薛、餽五十鎰而受、前日之不受、是則今日之受非也、今日之受、是則前日之不受非也、夫子必居一於此矣、孟子曰、皆是也、當在宋也、予將有遠行、行者必以贖、辭曰、餽贖、予何爲不受、當在薛也、予有戒心、辭曰、聞戒、故爲兵餽之、予何爲不受、若於齊、則未有處也、無處而餽之、是貨之也、焉有君子而可以貨取乎、孟子曰ク、舜ハ畎畝ノ中ニ發セリ、傅說ハ版築ノ間ニ舉ゲラレ、膠鬲ハ魚鹽ノ中ニ舉ゲラレ、管夷吾ハ士ニ舉ゲラレ、孫叔敖ハ海ニ舉ゲラレ、百里

奚ハ市ニ舉ゲラレタリ、

孟子曰、舜發於畎畝之中、傅說舉於版築之間、膠鬲舉於魚鹽之中、管夷吾舉於士、孫叔敖舉於海、百里奚舉於市、

夫レ滕ハ、壤地褊小、將タ君子タランカ、將タ野人タランカ、君子ナケレバ野人ヲ治ムルコトナク、野人ナケレバ君子ヲ養フコトナシ、請フ野ハ九ガ一ニシテ助シ、國中ハ十ガ一ニシテ自カラ賦セシム、卿以下ハ必ズ圭田アリ、圭田ハ五十畝、餘夫ハ二十五畝、死徙郷ヲ出ルナシ、郷田井ヲ同クシ、出入相友トシ、守望相助ケ、疾病相扶持スレバ、則チ百姓親睦ス、方里ニシテ井ス、井ハ九百畝、其中ヲ公田ト爲ス、八家皆百畝ヲ私シ、同ク公田ヲ養フ、公事畢リ、然ル後私事ヲ治ム、野人ヲ分ツ所以ナリ、是レ其大略ナリ、若シ夫レ之ヲ潤澤スルハ、卽チ君ト子トニ在リ、

夫滕壤地褊小。將爲君子焉。將爲野人焉。無君子莫治野人。無野人莫養君子。請野九一而助。國中什一使自賦。卿以下必有圭田。圭田五十畝。餘夫二十五畝。死徙無出鄉。鄉田同井。出入相友。守望相助。疾病相扶持。則百姓親睦。方里而井。井九百畝。其中爲公田。八家皆私百畝。同養公田。公事畢。然後敢治私事。所以別野人也。此其大略也。若夫潤澤之。則在君與子矣。

昔者太王邠ニ居ル、狄人之ヲ侵ス、之ニ事フルニ皮幣ヲ以テスレドモ、免ル、ヲ得ズ、之ニ事フルニ犬馬ヲ以テスレドモ、免ル、ヲ得ズ、之ニ事フルニ珠玉ヲ以テスレドモ、免ル、ヲ得ズ、乃チ其耆老ヲ屬メ之ニ告グテ曰ク、狄人ノ欲スル所ハ吾ガ土地ナリ、吾之ヲ聞ク、君子ハ其人ヲ養フ所以ノ者ヲ以テ人ヲ害セズ、二三子何ゾ君ナキヲ患ヘンヤ、我將ニ之ヲ去ラントス、邠ヲ去ツテ梁山ヲ踰ヘ、岐山ノ下ニ邑シテ居ル、邠人曰ク、仁人

ナリ、失フベカラズト從フ者恰モ市ニ歸スルガ如シ、

昔者太王居邠、狄人侵之、事之以皮幣、不得免焉、事之以犬馬、不得免焉、事之以珠玉、不得免焉、乃屬其耆老而告之曰、狄人之所欲者吾土地也、吾聞之也、君子不以其所以養人者害人、二三子何患乎無君、我將去之、去邠踰梁山、邑於岐山之下居焉、邠人曰、仁人也、不可失也、從之者如歸市、

父母俱ニ存シ、兄弟故ナキハ、一ノ樂ミナリ、仰イデ天ニ愧デズ、俯シテ人ニ忤デザルハ、二ノ樂ミナリ、天下ノ英才ヲ得テ而シテ之ヲ教育スルハ、三ノ樂ミナリ、

父母俱存、兄弟無故、一樂也、仰不愧於天、俯不忤於人、二樂也、得天下英才而教育之、三樂也、

堯ノ時ニ當リテ、天下猶未ダ平ナラズ、洪水橫流シテ、天下ニ汜濫シ、草木

暢茂シ、禽獸繁殖シ、五穀登ラズ、禽獸人ニ逼リ、獸蹄鳥迹ノ道、中國ニ交ル、堯獨リ之ヲ憂ヘテ舜ヲ舉ゲテ敷キ治メシム、舜益ヲシテ火ヲ掌ラシム、益山澤ヲ烈シテ之ヲ焚ク、禽獸逃レ匿ル、禹九河ヲ疏シ濟漯ヲ淪ヘテ、諸ヲ海ニ注ギ、汝漢ヲ決クリ淮泗ヲ排キテ之ヲ江ニ注グ、然ル後中國得テ食フベシ、此時ニ當リテ禹外ニ八年、三タビ其門ヲ過グレドモ入ラズ、耕サント欲スト雖モ得ベケンヤ、

當堯之時、天下猶未平、洪水橫流、汎濫於天下、草木暢茂、禽獸繁殖、五穀不登、禽獸逼人、獸蹄鳥迹之道、交於中國、堯獨憂之、舉舜而敷治焉、舜使益掌火、益烈山澤而焚之、禽獸逃匿、禹疏九河、淪濟漯而注諸海、決汝漢、排淮泗、而注之江、然後中國可得而食、當此時也、禹八年於外、三過其門而不入、雖欲耕得乎、

后稷ハ民ニ稼穡ヲ教ヘ、五穀ヲ樹藝ス、五穀熟シテ民人育ス、人ノ道アルヤ、飽食煖衣、逸居シテ教ナケレバ、則チ禽獸ニ近シ、聖人之ヲ憂フルアリテ、契ヲシテ司徒タラシメ、教フルニ人倫ヲ以テス、父子親アリ、君臣義アリ、夫婦別アリ、長幼序アリ、朋友信アリ、放勳曰ク之ヲ勞ヒ之ヲ來タシ之ヲ匡シ之ヲ直ウシ之ヲ輔ケ之ケ翼ケテ、自ラ之ヲ得シメ、又從ツテ之ヲ振德スト、聖人ノ民ヲ憂フルコト此ノ如シ、而シテ耕ニ暇アラシヤ、后稷教民稼穡、樹藝五穀、五穀熟而民人育、人之有道也、飽食煖衣、逸居而無教、則近於禽獸、聖人有憂之、使契爲司徒、教以人倫、父子有親、君臣有義、夫婦有別、長幼有序、朋友有信、放勳曰、勞之來之、匡之直之、輔之翼之、使自得之、又從而振德之、聖人之憂民如此、而暇耕乎。

史記一則

史記ノ列傳ニ曰ク、孟軻ハ騶人ナリ、業ヲ子思ノ門人ニ受ク、道旣ニ通ジテ齊ノ宣王ニ遊事ス、宣王用ルコト能ハズ、梁ニ適ク、梁ノ惠王言フ所ヲ果サズ、則チ見テ以爲迂遠ニシテ事情ニ闊レリト、是ノ時ニ當ツテ、秦ハ商鞅ヲ用キ、楚魏ハ吳起ヲ用キ、齊ハ孫子田忌ヲ用キル、天下方ニ合縱連衡ヲ務メテ攻伐ヲ以テ賢ト爲ス、而シテ孟軻ハ乃チ唐虞三代ノ徳ヲ述ブ、是ヲ以テ如ク所ノ者合ハズ、退イテ萬章ノ徒ト、詩書ヲ序デ仲尼ノ意ヲ述ベテ孟子七篇ヲ作ル

史記列傳曰、孟軻、騶人也。受業子思之門人。道旣通。遊事齊宣王。宣王不能用。適梁。梁惠王不果所言。則見以爲迂遠而闊於事情。當是之時。秦用商鞅。楚魏用吳起。齊用孫子田忌。天下方務於合縱連衡以攻伐爲賢。而孟軻乃述唐虞三代之徳。是以所如者不合。退而與萬章之徒。序詩書述仲尼之意。

作孟子七篇。

十八史略一則

初メ陽武ノ人陳平家貧クシテ好ンデ書ヲ讀ム、里中ノ社ニ平宰ト爲リ、肉ヲ分ツコト甚ダ均シ、父老曰ク善シ、陳孺子ノ宰タルコトハト、平曰ク嗟乎平ヲシテ天下ニ宰タルコトヲ得シメバ亦此肉ノ如クナラント、初メ魏王咎ニ事フ用キラレズ、去テ項羽ニ仕フ、罪ヲ得テ亡グ、魏無知ニ因リテ漢王ニ見エンコトヲ求ム、拜シテ都尉參乘典護軍ト爲ス、周勃王ニ言ツテ曰ク、平美ナルコト冠玉ノ如シト雖也、其中未ダ必シモ有ラザルナリ、臣聞ク平家ニ居リシキ其嫂ヲ盜ミ、魏ニ事ヘテ容レラレズ、亡グテ楚ニ歸シ、容レラレズ、亡グテ漢ニ歸ス、今大王護軍タラシム、諸將ノ金ヲ受ケン、願クハ大王之ヲ察セヨト、王魏無知ヲ讓ム、無知曰ク、臣ノ言フ所

ノ者ハ能ナリ、大王ノ聞ク所ノ者ハ行ナリ、今尾生孝己ノ行アリトモ、而カモ成敗ノ數ニ益ナクンバ、大王何ゾ之ヲ用キルニ暇アラシヤ、王平ヲ護軍中尉ニ拜シ盡トク諸將ヲ護ラシム、諸將敢テ復言ハズ

初陽武人陳平家貧好讀書、里中社平爲宰、分肉甚均、父老曰善、陳孺子之爲宰、平曰嗟乎、使平得宰天下、亦如此肉矣、初事魏、王咎不用、去事項羽、得罪亡、因魏無知求見漢王、拜爲都尉、參乘典護軍、周勃言於王曰、平雖美如冠玉、其中未必有也、臣聞平居家盜其嫂、事魏不容、亡歸楚、不容、亡歸漢、今大王令護軍受諸將金、願大王察之、王讓魏無知、無知曰、臣所言者能也、大王所聞者行也、今有尾生孝己之行、而無益成敗之數、大王何暇用之乎、王拜平護軍中尉、盡護諸將、諸將不敢復言、

東文法程 終

乙巳年三月初二版
中華民國二十四年六月國難後第一版

版 翻
權 印
所 必
有 究

訂東文法程 一 6册

(45030)

每册定價大洋伍角

外埠酌加運費匯費

編纂者 商務印書館編譯所

發行兼印刷者 上海河南路商務印書館

發行所 上海及各省商務印書館

